

政策公約対応事業の 取組状況 (任期2年目)

令和5年8月22日(第5回)

令和5年9月1日(第6回)

八戸市

対応事業の見方

- ・令和5年7月末を基準日として掲載しています。
- ・対応事業の記載内容は以下のとおりです。

事業00: <事業名称を記載しています>

事業内容	<事業の内容を簡潔に記載しています>
担当課	<担当課を記載しています>
取組詳細	<事業内容に掲げた事項を実現するための、具体的な取組を簡潔に記載しています>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p><市長就任(R3.11.17)から令和4年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。></p> <p><年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)></p>
	2年目	<p><令和4年8月から令和5年7月末までの実績や得られた成果を記載しています。> ※8月以降の実施予定(確定しているもの)についても記載しています。</p> <p><年度ごとの決算額、予算額を記載しています(単位:千円)></p>
	3年目	
	4年目	

政策 1	迅速かつ適切な新型コロナ対策
-------------	-----------------------

重点施策 1-1

医療提供体制の充実・強化に向けて、入院病床や宿泊療養施設の確保に努めると共に、クラスター発生時の保健所機能・PCR 検査体制の強化、迅速なワクチン接種、わかりやすい情報提供に努めるなど、新型コロナ感染症対策に全力を尽くします。

事業 1： 入院病床・宿泊療養施設確保事業

事業内容	保健・医療体制の維持・強化を図るため、新型コロナウイルス感染症の流行状況に応じ、県や医療機関と連携して、病床及び宿泊療養施設を確保する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	○県の計画に基づき、病床・宿泊療養施設を確保



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設 県内計 5施設 660床 (圏域別数値非公表) ・入院病床数 市内計 4医療機関 102床 →圏域病床使用率 43.9% (市内数値非公表) <p>R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設 県内計 2施設 190床 (圏域別数値非公表) (R5.5.7時点) ・入院病床数 市内計 4医療機関 66床 (R5.7月末時点) ※参考値 →圏域病床使用率 30.3% (市内数値非公表) (R5.7月末時点) ※参考値 <p>※感染症の位置づけ変更に伴い、令和5年5月7日をもって終了</p> <p>R4 年度決算額 0千円 R5 年度予算額 0千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：保健所機能強化事業

事業内容	感染拡大時においても保健所機能を維持するため、新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルを策定するとともに、必要な人材や機材等を確保する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和3年12月17日） ○マニュアルの運用及び検証 ○必要に応じた見直し



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和3年12月17日） ・保健所への本庁職員派遣数 延べ4,495人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 3人（令和4年度から） ・派遣社員の活用 1日あたり21人（令和4年度から） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所への本庁職員派遣数 延べ5,687人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 0人 ・派遣社員の活用 1日あたり5人 <p>・令和4年12月の感染症法の改正に伴い、今般の新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、保健所体制の整備を計画的に進めるため、保健所設置市において、予防計画の策定が義務づけられたことから、今年度策定予定である。</p> <p>R4年度決算額 67,951千円 R5年度予算額 90,843千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3：PCR等検査体制強化事業

事業内容	必要な検査需要に的確に対応するため、医療機関等と連携しPCR等検査体制を強化する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市内医療機関での検査 ○民間検査機関での検査 ○濃厚接触者を対象とした保健所によるPCR検査 ○有症状者を対象とした抗原検査キットの配付（令和4年8月3日から）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内医療機関での検査数 約 53,300 件 ・民間検査機関での検査数 約 20,500 件 ・保健所によるPCR検査数 約 24,000 件 <p>R3 年度決算額 457,354 千円 R4 年度予算額 71,931 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市内医療機関での検査数 約 93,100 件 ※感染症の位置づけ変更に伴い、令和5年5月7日をもって公費負担終了 ・民間検査機関での検査数 約 14,500 件 ※感染症の位置づけ変更に伴い、令和5年5月末日をもって終了 ・保健所によるPCR検査数 約 130 件 ※抗原検査キット配付に切り替え、令和4年8月2日をもって終了 ・抗原検査キット配付実績 約 37,200 個 ※感染症の位置づけ変更に伴い、令和5年5月7日をもって終了 <p>R4 年度決算額 620,504 千円 R5 年度予算額 209,574 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業4：新型コロナウイルスワクチン接種事業

事業内容	新型コロナウイルスワクチン接種を希望する方が適切な時期に確実に接種できるよう、接種体制を整備する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○初回接種（1・2回目）の実施 ※乳幼児のみ計3回接種 ○追加接種の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・第1期追加接種（3回目）の実施 ・第2期追加接種（4回目）の実施 ・令和4年秋開始接種（3～5回目）の実施 ・令和5年秋開始接種（3～6回目）の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・第1期追加接種（3回目）の開始（令和3年12月から） ・第2期追加接種（4回目）の開始（令和4年5月から） <p> ・接種率 初回接種 89.35%（12歳以上） 第1期追加接種 74.02%（12歳以上） 第2期追加接種 33.87%（60歳以上） </p> <p> R3年度決算額 2,207,477千円 R4年度予算額 909,562千円 </p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年秋開始接種（3～5回目）の開始（令和4年9月から） ・令和5年春開始接種（3～6回目）の開始（令和5年5月から） <p> ・接種率 初回接種 91.41%（12歳以上） 令和4年秋開始接種 57.95%（12歳以上） 令和5年春開始接種 53.74%（65歳以上） </p> <p> R4年度決算額 2,676,066千円 R5年度予算額 1,634,554千円 </p>
	3年目	—
	4年目	—

事業5：市民へのフォローアップ推進事業

事業内容	市民が安心して日常生活や経済社会活動を行うため、国・県等で定める対策や対処方針に基づく要請事項等について、速やかに分かりやすい情報発信を行う。
担当課	保健所 保健総務課
取組詳細	○国・県の要請事項等に関する速やかな情報発信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県の対処方針と乖離が生じることは、市民の混乱を招くため、市独自のガイドラインは制定しない方針。 ・国・県で定める対処方針に基づく要請事項等について、速やかに情報発信・注意喚起を実施。 →情報発信実績：市長記者会見(R3.12月～R4.7月(定例会見含)) 18回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う、国・県の対処方針や段階的に移行される医療提供体制等についての情報発信を実施。 ・市民が安心して日常生活・経済社会活動を行うための国・県等からの各種通知や必要な情報について、速やかに分かりやすく情報発信を実施。 →情報発信実績：市長記者会見(R4.8月～定例会見及び対策本部含) 7回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施 <p>R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 1-2

自宅療養者・宿泊療養者への健康観察等の適切な対応を図るとともに、潜在的保健師・看護師を登録する人材バンクの活用等により保健所の体制整備に努めます。

事業 1： 自宅療養者等対応強化事業

事業内容	全ての自宅療養者等が速やかに健康観察等のフォローアップを受けられる体制を整備し、適切な対応を行う。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○自宅療養者への支援継続及び保健所業務の負担軽減を図るため、外部委託により食品セットを調達し、希望する方に対し食品セット配付を実施 ○自宅療養が難しい陽性者に対し、状況に応じて宿泊療養の調整を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品セット支援数 約 13,200 セット (1セット=3食×5日分) ・宿泊療養調整 約 960 件 (R3.11~R4.7) <p>R3 年度決算額 44,285 千円 R4 年度予算額 1,400 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品セット支援数 【3食×5日分】 約 4,600 セット (R4.8~9) 【3食×3日分】 約 1,500 セット (R4.9~R5.5) ・宿泊療養調整 約 340 件 (R4.8~R5.5) <p>※感染症の位置づけ変更に伴い、令和5年5月7日をもって終了</p> <p>R4 年度決算額 143,472 千円 R5 年度予算額 12,833 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 潜在保健師・看護師人材バンク活用事業

事業内容	感染拡大時においても迅速かつ的確な対応を行うため、必要に応じて、人材バンクを活用し、健康観察業務等を行う専門職を確保する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	○人材バンク等の活用 ○専門職の臨時的確保



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・健康観察、相談業務対応専門職会計年度任用職員 延べ8名雇用 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 2,086千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・健康観察、相談業務対応専門職会計年度任用職員 延べ9名雇用 (R4.8~R5.5) ※新型コロナウイルス感染症の位置づけ変更に伴い、令和5年5月7日をもって終了 R4年度決算額 2,086千円 R5年度予算額 2,844千円
	3年目	—
	4年目	—

重点施策1-3

必要に応じて、高齢者施設、繁華街の飲食店の一斉検査(スクリーニング検査)を行うほか、医療機関、高齢者施設、保育園等への抗原簡易キットを活用するなど、検査体制の強化を図ります。

事業1： クラスター対策事業

事業内容	集団感染を未然に防ぐため、クラスター対策が必要な団体・施設等に対し一斉検査等を実施する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	○PCR検査キットの配付 対象施設：飲食店、教育・保育関係施設、高齢者施設、障害者施設等 ○抗原検査キットの配付（令和4年8月から） 対象施設：高齢者施設、障害者施設、保育関係施設



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	・PCR検査キット配付実績 約20,600個（令和4年1月から3月実施） R3年度決算額 140,874千円 R4年度予算額 13,663千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	・抗原検査キット配付実績 約117,400個（令和4年8月から） ※感染症の位置づけ変更後も、重症化リスクの高い高齢者施設、障害者施設については継続 R4年度決算額 31,912千円 R5年度予算額 57,013千円
	3年目	—
	4年目	—

重点施策1-4

新型コロナ禍の影響が大きい観光関連事業者等に対して、事業存続に向けた適切な支援を行うほか、観光・飲食等の需要回復支援に取り組みます。

事業1：八戸市商業団体等販売促進支援事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、各種団体が実施する市民の消費喚起を促進する事業や販売促進事業に要する経費の一部を助成する。
担当課	商工課
取組詳細	<p>○商業団体等が行う販売促進事業への助成</p> <p><R4年度（当初募集・追加募集）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：9/10 ・上限額：一般枠 5,000 千円、特別枠 10,000 千円 ・交付予定件数：一般枠 50 件、特別枠 2 件（商工会議所、商工会） <p><R5年度（商工団体追加募集）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助率：9/10 ・上限額：商工会議所 20,000 千円、商工会 10,000 千円 ・交付予定件数：2 件（商工会議所、商工会） <p>○イベント等の情報発信</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>○当初募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付（令和4年4月28日～令和4年5月31日） ・交付決定：【一般枠】30件／126,791千円 【特別枠】2件／20,000千円 <u>計32件／146,791千円</u> <p>○追加募集（一般枠のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付（令和4年7月27日～令和4年10月31日） ・申請件数：1件 <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 268,337千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<p><R4年度></p> <p>○当初募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付（令和4年4月28日～令和4年5月31日） ・交付実績：【一般枠】27件／111,782千円 【特別枠】2件／19,409千円 <p>○追加募集（一般枠のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請受付（令和4年7月27日～令和4年10月31日） ・交付実績：【一般枠】24件／104,929千円 <p>○当初募集+追加募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付実績：【一般枠】51件／216,711千円 【特別枠】2件／19,409千円 <u>計53件／236,120千円</u> <p><R5年度></p> <p>○商工団体追加募集（特別枠のみ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交付決定：【特別枠】2件／27,961千円 <p>R4年度決算額 236,120千円 R5年度予算額 30,000千円</p>

	3年目	—
	4年目	—

事業2：八戸市プレミアム食事券事業

事業内容	新型コロナウイルスの影響により売上が低迷している市内飲食店を支援するため、プレミアム食事券を発行する。
担当課	商工課
取組詳細	<p>○プレミアム食事券の発行・販売 食事券概要：500円券×13枚綴り=6,500円 1セット5,000円で販売（1人5セットまで予約可） プレミアム率：30% 発行総数：80,000セット 発行総額：5億2,000万円（6,500円×80,000セット） プレミアム総額：1億2,000万円（1,500円×80,000セット） 購入対象者：制限なし 実施主体：八戸市プレミアム食事券実行委員会 （八戸市、八戸商工会議所、八戸商店街連盟で組織）</p> <p>○参加店の募集</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>○プレミアム食事券の発行・抽選・販売 購入申込期間：R4.6.24（金）～7.15（金） 購入申込方法：特設Webサイトから、又は専用ハガキでの申込み 発行総数80,000セットに対し、以下のとおり申込みがあり、抽選を実施。 <申込者数・申込セット数> 30,193名 123,156セット <抽選結果> <table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border-bottom: 1px solid black;">[当選者]</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">19,591名</td> <td style="border-bottom: 1px solid black;">80,000セット</td> </tr> <tr> <td>[落選者]</td> <td>9,826名</td> <td>40,167セット</td> </tr> <tr> <td>[対象外]</td> <td>776名</td> <td>2,989セット</td> </tr> </table> 購入引換期間：R4.7.29（金）～8.28（日） 販売所：八戸市内のショッピングセンター、スーパー他11か所 販売(引換)率：34.9%（R4.7末現在）（参考）74.1%（R4.8.14現在） 利用期間：R4.7.29（金）～R5.1.23（月）</p> <p>○参加店の募集 募集期間：R4.6.1（水）～R5.1頃まで 参加店舗数：461店舗（R4.7末現在）（参考）465店舗（R4.8.19現在） R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 180,000千円</p>	[当選者]	19,591名	80,000セット	[落選者]	9,826名	40,167セット	[対象外]	776名	2,989セット
	[当選者]	19,591名	80,000セット								
[落選者]	9,826名	40,167セット									
[対象外]	776名	2,989セット									
2年目 (R5.7月末時点)	<p>○プレミアム食事券の発行・抽選・販売 販売期間：R4.7.29(金)～8.28(日)【追加販売期間】R4.9.10(土)～9.20(火) 販売所：八戸市内のショッピングセンター、スーパーほか計11箇所 販売(引換)率：100% 利用期間：R4.7.29(金)～R5.1.23(月)</p> <p>○参加店の募集 募集期間：R4.6.1(水)～R5.1まで随時受付 参加店舗数：477店舗 換金率：99.6%（1,035,952枚、517,976,000円）</p> <p>R4年度決算額 173,149千円 R5年度予算額 0千円</p>										

	3年目	—
	4年目	—

事業3：八戸市プレミアム商品券事業

事業内容	コロナ禍や原油価格・物価の高騰により経営環境が悪化する事業者を支援するとともに、家計の負担軽減を図るため、プレミアム商品券を発行する。						
担当課	商工課						
取組詳細	<p>○プレミアム商品券の発行</p> <p>商品券概要：1,000円券×15枚綴り=15,000円※原油・物価高騰特別加算分2,000円 1セット10,000円で販売（1人1セットまで購入可）</p> <p><15枚の内訳></p> <table border="0"> <tr> <td><u>全店共通券</u></td> <td>全参加店舗で利用可能</td> <td>1,000円券×9枚</td> </tr> <tr> <td><u>地元応援券</u></td> <td>市内に本店がある事業者の参加店舗で利用可能</td> <td>1,000円券×6枚</td> </tr> </table> <p>プレミアム率：50%</p> <p>発行総数：22万2千セット（住基人口：221,818人_7.31時点）</p> <p>発行総額：33億3,000万円（15,000円×222,000セット）</p> <p>プレミアム総額：11億1,000万円（5,000円×222,000セット）</p> <p>購入対象者：R4.7.31に八戸市の住民基本台帳に登録されている方 （10月上旬に八戸市から全世帯の世帯主宛に購入引換券を郵送予定）</p> <p>実施主体：八戸市プレミアム商品券実行委員会 （八戸市、八戸商工会議所、八戸商店街連盟で組織）</p> <p>○参加店の募集</p>	<u>全店共通券</u>	全参加店舗で利用可能	1,000円券×9枚	<u>地元応援券</u>	市内に本店がある事業者の参加店舗で利用可能	1,000円券×6枚
<u>全店共通券</u>	全参加店舗で利用可能	1,000円券×9枚					
<u>地元応援券</u>	市内に本店がある事業者の参加店舗で利用可能	1,000円券×6枚					



各期間の取組実績・ 成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・プレミアム商品券の発行 販売開始：令和4年秋頃 利用開始：令和4年秋頃 ・参加店の募集 募集期間：R4.8.15（月）～R5.1.13（金） （参考）参加店舗数：274店舗（R4.8.17現在） R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 1,250,000千円
-----------------	-----------------------	---

<p>2年目 (R5.7月 末時点)</p>	<p>○プレミアム商品券の発行 販売期間：R4.10.14(金)～R4.12.13(火) *61日間 利用期間：R4.10.14(金)～R5.2.13(月) *123日間 販売実績：18億8,634万円(購入率85%) *引換券送付済22万1,818人、購入18万8,634人 引換所：八戸市内のショッピングセンター、郵便局ほか計45箇所 発行総額：28億2,951億円 購入18万8,634人×15,000円分 引換率：85.0%</p> <p>○参加店の募集 市内(南郷地区を含む)で営業する店舗(小売店・飲食店・サービス業など) ※金融、風俗、公序良俗に反する事業者等、本事業の趣旨に沿わないものを除く。 券種の区分は次のとおり 全店共通券：全参加店舗 地元応援券：市内に本店(個人事業主は住所)のある事業者の参加店舗 市内でガソリンスタンドを営業する参加店舗(本店所在地は問わず) 募集期間：R4.8.15(月)～R5.1.13(金) 申込方法：特設Webサイト又は書面の郵送・FAXで申込 参加料：無料 精算方法：月2回程度銀行振込にて支払。換金手数料無料。 参加店舗数：1,305店舗 換金状況：28億2,004万2,000円(換金率99.7%) *共通券1,692,173枚(換金率99.7%)、応援券1,127,869枚(換金率99.7%) R4年度決算額 1,045,521千円 R5年度予算額 0千円</p>
<p>3年目</p>	<p>—</p>
<p>4年目</p>	<p>—</p>

事業4： 八戸市観光おもてなしクーポン事業

事業内容	新型コロナウイルスの感染拡大により、経済的に大きな影響を受けている観光関連事業者を支援するため、当市に宿泊する観光客等を対象にしたクーポンを発行する。
担当課	観光課
取組詳細	○市内の飲食店やお土産店で利用できるクーポンを交付 対象者：本事業の登録宿泊施設に宿泊する観光客・ビジネス客等 クーポン：2,000円（1,000円×2枚）／1名1泊 発行枚数：合計60,000枚（総額60,000,000円）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	・事業実施に向けた検討 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 75,000千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・参加宿泊施設：31施設 ・参加飲食店：251店舗 ・参加お土産店：20店舗 ・クーポン配布枚数29,961枚 ・クーポン換金額：28,391,000円 R4年度決算額 40,434千円（事務費12,043千円含） R5年度予算額 0千円
	3年目	—
	4年目	—

事業5： マチニワイベント支援事業

事業内容	街の賑わい創出と地域経済の活性化を図るため、マチニワで市内の複数事業者が共同で飲食・物販を含むイベントを開催する場合に、会場使用料を減免する。
担当課	八戸ポータルミュージアム
取組詳細	<p>○マチニワ使用料の免除（R4 年度） 対象：マチニワを会場とした飲食・物販を含むイベント</p> <p>○マチニワ使用料の一部減免（R5 年度） 対象：マチニワを会場とした飲食・物販を含むイベント</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・5月2日支援事業受付開始 支援期間 令和4年5月28日～令和5年3月31日 ・支援対象イベント申請受付件数 15件 ・うちイベント実施済件数 7件 <p>R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月1日令和5年度支援事業受付開始 支援期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日 ・支援対象イベント申請受付件数 19件 ・うちイベント実施済件数 23件 ・イベント来場者総数 11,142人（令和4年度実績） ・八戸商工会議所青年部による中心街の活性化、広域地域ブランドの認知度向上を目的とした「三八肉サミット」、八戸近郊の若手農家が主体となり消費者との新しい輪を創り出す「三八ファーマーズマルシェ」などのイベントがマチニワで開催された。 <p>R4 年度決算額 0千円 R5 年度予算額 0千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 1-5

新型コロナ禍の長期化により懸念される、高齢者フレイル（心身の虚弱）などの健康二次被害の予防と対策に取り組みます。

事業 1： 介護予防センター運営事業

事業内容	高齢者が住み慣れた地域で健康に暮らすため、介護予防センターの各種事業を周知すると共に、高齢者が主体的に介護予防に取り組むことができるよう、各種介護予防事業を行う。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防センター運営事業の周知 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 ○認知症支援事業の実施 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 ○圏域を対象とした利用促進事業の実施（令和4年度開始）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防センター運営事業の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はちのへ、新聞及び雑誌の掲載 5 回、BeFM 放送 6 回、出前講座 1 回 ・市内各所へチラシの設置（イトーヨーカドー八戸沼館店、福祉公民館、総合福祉会館） ・フレイル予防チラシ（介護予防センター休館中、週刊）「コロナに負けるな」全 16 種類作成、配布 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・体力測定 4 人、もの忘れチェック 11 人、栄養相談 2 人、介護予防相談 80 人、介護予防教室 63 人、回想法延べ 60 人、体操会延べ 1,291 人、集いの場延べ 910 人 ○認知症支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・本人のつどい延べ 3 人、認知症の人を抱える家族のつどい 27 人、認知症カフェ 11 人 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・家族介護教室 17 人 <p>R3 年度決算額 17,631 千円 R4 年度予算額 18,891 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防センター運営事業の周知 <ul style="list-style-type: none"> ・広報はちのへ、新聞及び雑誌の掲載 4 回、BeFM 放送 7 回、出前講座 2 回 ・市内各所へチラシの設置のほか、デジタルサイネージを活用した事業の周知 ○介護予防（フレイル予防）事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・体力測定 13 人、もの忘れチェック 19 人、栄養相談 4 人、介護予防相談 116 人、介護予防教室 104 人、回想法延べ 91 人、体操会延べ 2,291 人、集いの場延べ 1,964 人 ○認知症支援事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・本人のつどい 0 人、認知症の人を抱える家族のつどい 70 人、認知症カフェ 12 人 ○家族介護支援事業の実施及び社会資源の情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・家族介護教室 21 人、認知症フォーラム（委託）85 人 ○連携中枢都市圏連携事業として運用開始（R4 年 8 月～、連携町村利用者 20 人） <p>R4 年度決算額 15,689 千円 R5 年度予算額 18,265 千円</p>

	3年目	—
	4年目	—

事業2：高齢者等バス特別乗車証無償化事業

事業内容	フレイル予防や外出支援対策のため、高齢者バス特別乗車証及び障がい者バス特別乗車証を無料で交付する。
担当課	高齢福祉課、障がい福祉課
取組詳細	<p>○1年間利用できる高齢者等バス特別乗車証を利用希望者に対し、令和5年度に限り無料で交付する。</p> <p>対象者・70歳以上の高齢者(身体障害者手帳1～4級・愛護手帳及び精神障害者保健福祉手帳の所持者を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害者手帳1～4級の所持者と、愛護手帳及び精神障害者保健福祉手帳を所持している6歳以上の者



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>R3年度決算額 0千円</p> <p>R4年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>○無償化事業周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報はちのへ、BeFM放送、対象者への勧奨通知 <p>○4月～7月交付者数 8,488人</p> <p>※受付期間は令和5年4月～令和6年3月まで</p> <p>R4年度決算額 0千円</p> <p>R5年度予算額 0千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 1-6

感染症との共存（ウイズコロナ）時代において、市民が安心して日常生活や経済・文化・スポーツ・教育等の活動を行えるよう、市独自のガイドラインを制定し、フォロー体制を構築します。

事業1：市民へのフォローアップ推進事業（再掲）

事業内容	市民が安心して日常生活や経済社会活動を行うため、国・県等で定める対策や対処方針に基づく要請事項等について、速やかに分かりやすい情報発信を行う。
担当課	保健所 保健総務課
取組詳細	○国・県の要請事項等に関する速やかな情報発信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・国・県の対処方針と乖離が生じることは、市民の混乱を招くため、市独自のガイドラインは制定しない方針。 ・国・県で定める対処方針に基づく要請事項等について、速やかに情報発信・注意喚起を実施。 <p>→情報発信実績：市長記者会見(R3.12月～R4.7月(定例会見含)) 18回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施</p> <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う、国・県の対処方針や段階的に移行される医療提供体制等についての情報発信を実施。 ・市民が安心して日常生活・経済社会活動を行うための国・県等からの各種通知や必要な情報について、速やかに分かりやすく情報発信を実施。 <p>→情報発信実績：市長記者会見(R4.8月～定例会見及び対策本部含) 7回 そのほか、市公式 SNS や市 HP による情報発信を実施</p> <p>R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策1-7

新型コロナへの対応について様々な角度から検証し、新たな「感染危機管理マニュアル」を策定します。

事業1：保健所機能強化事業（再掲）

事業内容	感染拡大時においても保健所機能を維持するため、新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルを策定するとともに、必要な人材や機材等を確保する。
担当課	保健所 保健予防課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和3年12月17日） ○マニュアルの運用及び検証 ○必要に応じた見直し



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症危機管理マニュアルの策定（令和3年12月17日） ・保健所への本庁職員派遣数 延べ4,495人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 3人（令和4年度から） ・派遣社員の活用 1日あたり21人（令和4年度から） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健所への本庁職員派遣数 延べ5,687人 ・保健所一般事務に従事する会計年度任用職員の採用 0人 ・派遣社員の活用 1日あたり5人 ・令和4年12月の感染症法の改正に伴い、今般の新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、保健所体制の整備を計画的に進めるため、保健所設置市において、予防計画の策定が義務づけられたことから、今年度策定予定である。 <p>R4年度決算額 67,951千円 R5年度予算額 90,843千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

政策2 八戸圏域の特性を活かした経済活性化

重点施策2-1

ウィズコロナ・アフターコロナ時代に向けた「八戸市経済再生ビジョン」を策定し、地域経済の再生・回復を図ります。

事業1：八戸市経済再生ビジョン策定事業

事業内容	地域経済の再生・回復を図るため、八戸市経済再生ビジョンを新たに策定し、経済再生に向けた道筋を示す。
担当課	商工課
取組詳細	○ビジョンの策定 ○ビジョンの周知 ○ビジョンに掲げた取組の推進



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・骨子案の作成 ・アンケート業務委託契約締結（令和4年7月7日契約締結） ・ビジョン策定に向けたアンケート内容全29問、送付先2,000社の確定 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 6,086千円
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョン策定に向けた有識者懇談会を開催（令和4年9月、10月の計2回） ・アンケートの集計及び集計結果の公表（令和4年10月） ・パブリックコメントの実施（令和5年1月～2月） ・ビジョンの完成（令和5年3月） 【参考：ビジョン策定後の取組状況】 <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンを実現するための全49事業を推進（令和5年4月～） [ビジョンを実現するための事業（主なもの）] ①地域企業支援体制強化事業 ②はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業（拡充） ③ポートセールス事業 ④地元企業ファンづくりプロジェクト事業 ⑤高校生による地元企業魅力発見体験事業（R5新規） ⑥中小企業特別保証制度保証料補助事業 ⑦青森県伴走支援型借換資金融資制度保証料補給事業（R5新規） ⑧新商品特定随意契約制度事業者認定事業 ⑨中小企業相談所支援事業 ⑩中小企業・小規模企業振興基本条例推進事業
	3年目	—
	4年目	—

重点施策2-2

水産業の未来を考える「(仮称)八戸水産アカデミー」を設置します。また、養殖事業等の「つくり育てる漁業」の推進に向けた研究会を立ち上げ、多様な水産資源の確保に努めます。

事業1：水産業振興事業

事業内容	水産業の発展を図るため、当市水産業の未来を考える八戸水産アカデミーを新たに設置するとともに、養殖の可能性を調査研究する研究会を新たに設置する。
担当課	水産事務所
取組詳細	○八戸水産アカデミーにおける当市水産業の再興に向けた協議・検討 ○八戸水産アカデミー「つくり育てる漁業専門部会」における養殖業についての調査・研究 ○はちのへ水産振興会議を必要に応じて開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R4.5.11 八戸水産アカデミー設置 R4.5.24 第1回八戸水産アカデミー開催 テーマ「体験的八戸水産業史」参加者約70人 R4.6.23 養殖事業先進地視察実施 ・鳥取県境港市：弓ヶ浜水産株式会社 R3 年度決算額 59 千円 R4 年度予算額 1,168 千円																																													
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>【水産アカデミー開催関係】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>開催日</th> <th>テーマ</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第2回</td> <td>R4.8.22</td> <td>養殖業の成長産業化について</td> <td>約70人</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>R4.11.28</td> <td>新たな資源管理について -TAC管理を中心に-</td> <td>約60人</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>R5.2.14</td> <td>水産バリューチェーン構築に向けて</td> <td>約70人</td> </tr> <tr> <td>令和5年度 第1回</td> <td>R5.8.9 (予定)</td> <td>検討中 (講演及びトークセッションを実施予定)</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【水産アカデミーつくり育てる漁業専門部会関係】 ・R5.3.20 に八戸水産アカデミーつくり育てる漁業専門部会を設置</p> <p>【養殖事業先進地視察関係】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>場所</th> <th>内容(魚種等)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">R4.8.2~3</td> <td>福井県小浜市：福井水産振興センター</td> <td>「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト</td> </tr> <tr> <td>福井県高浜町：高浜町役場</td> <td>トラフグ海面養殖</td> </tr> <tr> <td>鳥取県岩美町：岩美町陸上養殖センター</td> <td>お嬢サバ</td> </tr> <tr> <td>R5.6.1</td> <td>今別町：日本サーモンファーム株式会社</td> <td>青森サーモン 専門部会員7人参加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">R5.6.5~6</td> <td>岩手県大船渡市：元正榮北日本水産株式会社</td> <td>三陸翡翠あわび</td> </tr> <tr> <td>岩手県大槌町：弓ヶ浜水産株式会社</td> <td>岩手大槌サーモン</td> </tr> <tr> <td>岩手県普代村：普代村役場</td> <td>ブルーカーボン事業</td> </tr> <tr> <td>R5.6.26</td> <td>新郷村：株式会社虹鱒屋</td> <td>青い森紅サーモン</td> </tr> <tr> <td>R5.7.6</td> <td>むつ市大畑：北彩漁業生産組合</td> <td>海峡サーモン</td> </tr> </tbody> </table> <p>R4 年度決算額 241 千円 R5 年度予算額 2,151 千円</p>		開催日	テーマ	参加者数	第2回	R4.8.22	養殖業の成長産業化について	約70人	第3回	R4.11.28	新たな資源管理について -TAC管理を中心に-	約60人	第4回	R5.2.14	水産バリューチェーン構築に向けて	約70人	令和5年度 第1回	R5.8.9 (予定)	検討中 (講演及びトークセッションを実施予定)	-	実施日	場所	内容(魚種等)	R4.8.2~3	福井県小浜市：福井水産振興センター	「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト	福井県高浜町：高浜町役場	トラフグ海面養殖	鳥取県岩美町：岩美町陸上養殖センター	お嬢サバ	R5.6.1	今別町：日本サーモンファーム株式会社	青森サーモン 専門部会員7人参加	R5.6.5~6	岩手県大船渡市：元正榮北日本水産株式会社	三陸翡翠あわび	岩手県大槌町：弓ヶ浜水産株式会社	岩手大槌サーモン	岩手県普代村：普代村役場	ブルーカーボン事業	R5.6.26	新郷村：株式会社虹鱒屋	青い森紅サーモン	R5.7.6	むつ市大畑：北彩漁業生産組合
	開催日	テーマ	参加者数																																												
第2回	R4.8.22	養殖業の成長産業化について	約70人																																												
第3回	R4.11.28	新たな資源管理について -TAC管理を中心に-	約60人																																												
第4回	R5.2.14	水産バリューチェーン構築に向けて	約70人																																												
令和5年度 第1回	R5.8.9 (予定)	検討中 (講演及びトークセッションを実施予定)	-																																												
実施日	場所	内容(魚種等)																																													
R4.8.2~3	福井県小浜市：福井水産振興センター	「鯖、復活」養殖効率化プロジェクト																																													
	福井県高浜町：高浜町役場	トラフグ海面養殖																																													
	鳥取県岩美町：岩美町陸上養殖センター	お嬢サバ																																													
R5.6.1	今別町：日本サーモンファーム株式会社	青森サーモン 専門部会員7人参加																																													
R5.6.5~6	岩手県大船渡市：元正榮北日本水産株式会社	三陸翡翠あわび																																													
	岩手県大槌町：弓ヶ浜水産株式会社	岩手大槌サーモン																																													
	岩手県普代村：普代村役場	ブルーカーボン事業																																													
R5.6.26	新郷村：株式会社虹鱒屋	青い森紅サーモン																																													
R5.7.6	むつ市大畑：北彩漁業生産組合	海峡サーモン																																													

	3年目	—
	4年目	—

重点施策2-3

「食のまち・八戸」をテーマとした観光振興により、八戸圏域の農業・畜産・水産資源を有効活用することで、交流人口や関係人口の増加による圏域全体の経済の活性化を図ります。

事業1： グリーン・ツーリズム推進事業

事業内容	農業観光振興を図るため、三八地方農業観光振興協議会に参画し、関係自治体と連携を図りながら、農家民泊の受入を促進する。
担当課	農業経営振興センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○三八地方農業観光振興協議会への参画 ○三八地方農業観光振興協議会に対し、負担金を交付 ○八戸市観光農園振興事業補助金の交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和4年4月13日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和4年4月21日） ・三八地方農業観光振興協議会負担金 160,000 円の支払い（令和4年5月） <p>R3 年度決算額 410 千円 R4 年度予算額 477 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和4年8月） 交付金額：300,000 円 ・農業体験修学旅行で1校受入れ（令和4年9月2日～7日） ・三八地方農業観光振興協議会担当者会議への出席（令和4年11月17日、令和5年2月28日） ・三八地方農業観光振興協議会理事会への出席（令和5年4月20日） ・令和5年度八戸市観光農園振興事業補助金の交付（令和5年6月） 交付金額：300,000 円 <p>R4 年度決算額 477 千円 R5 年度予算額 477 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：VISIT はちのへ活動支援事業

事業内容	観光物産振興を図るため、八戸圏域版DMO「(一財) VISIT はちのへ」が取り組む各種事業を支援する。
担当課	観光課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ (一財) VISIT はちのへが取り組む各種事業に補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食のまち・八戸」プロモーション事業 ・ 圏域物産紹介販売推進事業 ・ 物産展・商品見本市・商談会事業 ・ MICE (会議・コンベンション等誘致) 事業 ・ 誘客推進事業 ・ 物産振興事業 ・ 情報発信事業



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 119,719,194 円 (令和4年5月18日) ○令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 140,531,000 円 (令和4年5月27日) <ul style="list-style-type: none"> ・ 「食のまち・八戸」関連事業分 令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 3,120,987 円 ・ 「MICE」実績 令和3年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 3 件 (金額 392,000 円) ・ 「情報発信」事業実績 令和3年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 19,243,442 円 <p>取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、広報戦略プロモーション事業</p> <p>R3 年度決算額 119,719 千円 R4 年度予算額 180,000 千円</p>

	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>○令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 126,505,498 円 (令和5年5月18日)</p> <p>○令和5年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 185,000,000 円 (令和5年5月26日)</p> <p>・「食のまち・八戸」関連事業分 令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 8,909,868 円 ※VISIT はちのへでは、令和4年から令和7年度の4か年事業として「食のまち八戸プロモーション事業」に取り組むもので、令和4年度は試食イベントやアンケート調査による需要分析を実施し、その結果を基に令和5年度以降は販路拡大のための販売促進活動を実施する予定。</p> <p>・「MICE」実績 令和4年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 6 件 (金額 882,000 円)</p> <p>・MICE プロモーション ①令和4年度東北地区 MICE 誘致商談会 (主催:東北地区コンベンション推進協議会) 参加。 ②第32回国際 MICE エキスポ IME2023 (主催:一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー) に青森県ブースとして参加。</p> <p>・「情報発信」事業実績 令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 17,029,304 円 取組内容:デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、広報戦略プロモーション事業</p> <p>R4 年度決算額 126,506 千円 R5 年度予算額 185,000 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 八戸都市圏交流プラザ運営事業

事業内容	八戸圏域の認知度向上と販路拡大を目指すとともに、関係人口を増やすため、八戸都市圏交流プラザ「8base（エイトベース）」を運営し、地場製品の販売や交流事業を実施する。
担当課	観光課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「8base（エイトベース）」における物産販売、飲食の提供 ○食に関連するイベント等の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>来店実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度（12月～3月）60,743人 令和4年度（4月～7月）95,926人 <p>売上実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度（12月～3月）16,547千円 令和4年度（4月～7月）28,428千円 <p>R3年度決算額 37,102千円 R4年度予算額 47,577千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>食に関連するイベント等：ファンミーティングの交流事業の他、圏域事業者による地場製品のPR等、各種イベントを計25回開催。</p> <p>来店実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度（8月～3月）185,842人 令和5年度（4月～6月）83,367人 <p>売上実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度（8月～3月）63,331千円 令和5年度（4月～6月）29,563千円 <p>R4年度決算額 45,686千円 R5年度予算額 47,441千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業4：湊地区まちづくり事業

事業内容	「みなと八戸」の振興を図るため、官民連携により、陸奥湊駅前市場街の再整備に取り組む。
担当課	まちづくり推進課
取組詳細	<p>駅前に立ち並ぶ公設及び民設の市場を、市場機能の他に滞在空間や飲食・物販機能を取り入れた施設に、エリアとして機能分担しながら民間事業者と協調して改修することで、市民や観光客に選ばれる魅力的な通りに再整備するもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○みちのくみなと未来株式会社と市場再整備に係る協定締結 ○湊地区まちづくり支援事業補助金の交付 ○八戸市魚菜小売市場のリニューアル改修 ○民間市場群の再整備（複数棟改修型優良建築物等整備事業）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・みちのくみなと未来株式会社と市場再整備に係る協定締結（令和4年7月） <p>R3 年度決算額 58,590 千円 R4 年度予算額 513,335 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・湊地区まちづくり支援事業補助金交付決定（令和4年9月29日） 再整備する民間市場の一部の建物調査や改修基本設計を実施 ・八戸市魚菜小売市場のリニューアルオープン（令和4年12月1日） 来場者 10 万人達成（令和5年4月5日） <p>R4 年度決算額 510,142 千円 R5 年度予算額 48,432 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業5：物産販売促進事業

事業内容	観光物産振興を図るため、地場産品を活用した料理・食文化普及活動や食に関するイベントの開催に対し、補助金を交付する。
担当課	観光課
取組詳細	<p>○地場産品を活用した料理・食文化普及活動や食のイベントを開催する市内の団体に補助金を交付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1団体につき上限 50 万円 (ただし、補助対象経費の 1/2 又は 50 万円のいずれか低い額) ・ 補助対象経費 PR のためのリーフレット・チラシ・WEB サイト制作費等、コロナ対策に要する経費、消耗品費、通信運搬費、会場使用料、設営費等



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金(交付実績) 八戸ハマリレーションプロジェクト 350,000円 ・ 令和4年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金活用団体募集開始。 (令和4年6月1日～7月11日) → 3団体応募あり <p>R3年度決算額 350千円 R4年度予算額 2,000千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金(交付実績) 八戸せんべい汁研究所 387,500円 八戸の南部せんべいプロジェクト 420,390円 八戸ハマリレーションプロジェクト 500,000円 ・ 令和5年度地場産品を活用した料理・食文化普及活動支援事業補助金募集終了。 (令和5年6月1日～7月11日) → 2団体応募あり ※現在審査中。 追加募集検討中。 <p>R4年度決算額 1,308千円 R5年度予算額 2,000千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業 6： 農産物等販売促進事業

事業内容	八戸ワイン等のPR・販売促進を図るため、八戸都市圏交流プラザ「8base」等を活用した首都圏向けPRイベントを開催する。
担当課	農業経営振興センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市内ワイナリー等が8baseで実施する八戸ワインイベントへの協力（周知等） ○8base等を活用し、八戸ワインの販売促進に向けたPRイベントを開催（年2回）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸ワインと郷土料理を楽しむ会（令和3年12月25日～26日） 主催：金剛グループ 場所：8base 内容：東京事務所メルマガを通じて八戸市出身者等へのイベント周知を実施。 ・澤内醸造によるフリーテイスティング&販売会（令和4年5月21日） 主催：澤内醸造 場所：8base 内容：全国プレスリリース記事掲載依頼（広報統計課経由）。 日本ワイン JP、@Press 等 HP で掲載有り。 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 118 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸ワイン PR 試飲会 (令和4年10月9日～10日、12月8日～9日、令和5年2月4日～5日) 主催：市 場所：8base 内容：市とワイナリーが共同で八戸ワインの販売促進に向けたPRイベントを実施。 参加ワイナリー：八戸ワイナリー、澤内醸造 <p>R4 年度決算額 234 千円 R5 年度予算額 90 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 2-4

デジタル関連産業や医療・介護・健康等の「ヘルスケア産業」など、成長産業の集積に向けた企業誘致や事業育成に取り組みます。

事業 1： IT 産業集積促進事業

事業内容	IT 産業の一層の集積を図るため、「八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会」に負担金を交付するとともに、AI 関連産業に参入する法人への補助金交付や IT 関連企業への各種助成を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会」を支援（負担金交付等） ○AI アノテーション作業を行う事業者に対し専門人材養成に係る経費等を助成 ○市の誘致企業である IT 関連企業に対し、賃料補助金や雇用奨励金を交付



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会を支援 (令和 4 年度負担金：3,000,000 円) ・AI 関連産業参入支援事業補助金 交付決定 3 件、交付決定金額 1,110,000 円 <p>R3 年度決算額 25,614 千円 R4 年度予算額 30,806 千円</p>
	2 年目 (R5.7 月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸 IT・テレマーケティング未来創造協議会を支援 (令和 5 年度負担金：3,000,000 円) ・令和 4 年度 AI 関連産業参入支援事業補助金 交付確定 3 件、交付確定金額 11,008,000 円 ・令和 4 年度八戸市 IT 関連企業立地促進事業補助金 交付確定 5 件、交付確定金額 6,583,000 円 <p>R4 年度決算額 20,591 千円 R5 年度予算額 3,000 千円</p>
	3 年目	—
	4 年目	—

事業2：イノベティブ産業集積促進事業

事業内容	地域企業の成長ものづくり分野への参入を図るため、有識者を招聘し、最近の動向等について情報提供を行うとともに、企業の立地及び参入促進に向け、補助金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○関連企業訪問による課題抽出、支援策紹介 ○イノベティブ産業集積促進事業補助金の交付 ○航空機関連企業と地域内企業とのマッチング



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・航空機関連企業訪問：2件 <p>R3 年度決算額 1,586 千円 R4 年度予算額 2,188 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金活用意向有り：3件 (試作開発／医療福祉分野：2件、展示会出展／自動車分野：1件) ・航空機関連企業との情報交換：1件 <p>【聞き取り内容】 コロナ禍が落ち着き、航空機産業は回復傾向にある。各社の生産活動が回復している中、ますます求人倍率が高くなり、採用面で苦戦している。</p> <p>R4 年度決算額 1,765 千円 R5 年度予算額 6,397 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業

事業内容	産業構造の高度化と雇用の拡大を図るため、北インター工業団地等に立地する高度技術産業等の企業に対し各種奨励金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○立地企業に対し、土地購入や設備投資、地元雇用に要する経費に係る奨励金を交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度交付件数 (R4.4.1~R4.7.31) 立地奨励金1件、設備投資奨励金1件 R3年度決算額 296,382千円 R4年度予算額 206,670千円
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度交付件数 (R4.8.1~R5.3.31) 立地奨励金3件、操業奨励金4件 令和5年度交付件数 (R5.4.1~R5.7.31) 立地奨励金2件、設備投資奨励金1件 R4年度決算額 252,141千円 R5年度予算額 158,975千円
	3年目	—
	4年目	—

事業4： 企業誘致促進事業

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、当市の立地環境や支援制度等について総合的なPRを行うとともに、企業ニーズに関する情報収集を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○企業セミナーの開催 ○企業訪問等を通じたトップセールスの実施 ○ガイドブックの更新及び企業ニーズに関する情報収集



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸セミナー2022 開催 (参加者数 7/26 名古屋：約70名、7/27 東京：約150名) ・二役によるトップセールスの実施 (県内3社、県外4社) <p>R3 年度決算額 5,910 千円 R4 年度予算額 14,372 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業立地ガイドブックの作成 (1,000部) ・八戸セミナー2023 開催 (7/26 東京、7/27 名古屋) ※参加者数集計中 ・二役によるトップセールスの実施 (令和4年度：県内0社、県外3社、令和5年度：県内5社、県外3社) <p>R4 年度決算額 10,027 千円 R5 年度予算額 18,631 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業5： 中小企業特別保証制度保証料補助事業

事業内容	地元中小企業の経営強化を図るため、市内金融機関に対して原資を一部預託するほか、中小企業者に対する信用保証料の補助を行う。
担当課	商工課
取組詳細	○中小企業への信用保証料の補給 ○市融資の金融機関への預託



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○信用保証料補給 (R3 第2四半期～R4 第1四半期の合計額) ①小口特別保証制度：24,690千円 ②小口零細企業保証制度：8,329千円 ③商工業設備投資資金：25,370千円 ④「選ばれる青森」への挑戦資金：4,531千円 ○預託総額 (①～③+事業活性化資金 (信用保証料補給なし)) R3：810,000千円 R4：810,000千円 R3年度決算額 875,404千円 R4年度予算額 895,000千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○信用保証料補給 (R4 第2四半期～R5 第1四半期の合計額) ①小口特別保証制度：31,796千円 ②小口零細企業保証制度：6,185千円 ③商工業設備投資資金：30,271千円 ④「選ばれる青森」への挑戦資金：5,393千円 ⑤伴走支援型借換資金：17,381千円 ○預託総額 (①～③+事業活性化資金 (信用保証料補給なし)) R4：810,000千円 R5：810,000千円 R4年度決算額 879,195千円 R5年度予算額 945,000千円
	3年目	—
	4年目	—

重点施策2-5

経済のグローバル化に向けた北東北の物流拠点としての基盤の整備等、産業インフラをさらに充実させ企業誘致に努めます。

事業1：ポートセールス事業

事業内容	地域経済を支える八戸港の一層の発展を図るため、国内外の企業訪問によるポートセールス活動や首都圏等でのポートセミナー等を開催する。
担当課	商工課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○企業訪問 ○海外ポートセールス（韓国） ○国内ポートセミナー（東京、名古屋） ○情報誌の発行 ○八戸港コンテナ定期航路開設促進事業費補助金の交付 ○八戸港コンテナ貨物利用促進事業費補助金の交付 ○はちとまネットワークへの対応



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>【実績（結果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業訪問：R3…8件 R4…29件 ・海外ポートセールス：R3…中止 ・国内ポートセミナー：R3…中止 R4…名古屋67名（うち貿易関係20名） 東京148名（うち貿易関係78名） ・情報誌の発行：R3…八戸港情報誌「Port of Hachinohe」第51号発刊 R4…八戸港情報誌「Port of Hachinohe」第52号発刊 ・航路補助金：R3、R4：実績無し ・コンテナ補助金：R3：延べ27件 6,048千円 ・はちとま対応：R3…共同広告、ポスター掲示 R4…共同広告、打合せ実施 <p>【成果】</p> <p>八戸港コンテナ取扱量について、令和2年度は52,232TEU（空コンテナ込）であったのに対し、令和3年度は55,129TEU（同）〈速報値〉となり、対前年比5.5%増となった。</p> <p>R3年度決算額 12,271千円 R4年度予算額 30,077千円</p>

<p>2年目 (R5.7月 末時点)</p>	<p>【実績（結果）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業等訪問・来訪対応：R4…157件 R5…31件実施 ・海外ポートセールス：R4…中止 R5…R6.1月実施予定 ・国内ポートセミナー：R5…東京305名（うち貿易関係210名） 名古屋68名（うち貿易関係22名） <p>・情報誌の発行：R4…八戸港情報誌「Port of Hachinohe」第53号発刊 R5…八戸港ガイドブック「GLOBAL PORT HACHINOHE」第7版発刊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航路補助金：R4、R5：実績無し ・コンテナ補助金：R4：延べ21件 6,824千円 ・はちとま対応：R4…共同広告、打合せ実施 R5…共同広告、ポスター掲示 <p>【成果】</p> <p>八戸港コンテナ取扱量について、令和3年は55,129TEU（空コンテナ込）であったのに対し、令和4年は51,472TEU（同）〈速報値〉となり、対前年比6.6%減となった。</p> <p>R4年度決算額 13,933千円 R5年度予算額 35,545千円</p>
<p>3年目</p>	<p>—</p>
<p>4年目</p>	<p>—</p>

事業2：新産業団地整備・開発推進事業

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、企業進出の受け皿となる八戸北インター第2工業団地の開発を進める。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○新産業団地の開発 <ul style="list-style-type: none"> ・造成工事及び調整池工事の実施 ・分譲受付開始（令和6年度予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財発掘調査（実施中、～令和5年度前半まで） ・造成工事（実施中、令和3年度～令和5年度継続費） ・調整池工事の入札（令和4年7月） ・道路修正概略設計業務委託の契約締結（令和4年5月） ・支障物件等移設の補償契約締結（水道）（令和4年6月） <p>R3年度決算額 579,235千円 R4年度予算額 2,481,718千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財発掘調査実施（6月まで、報告書作成は令和5年度末まで予定） ・調整池工事（実施中、令和4年度～令和6年度継続費） ・防火水槽整備工事の契約締結（令和5年5月） ・（仮称）2号公園整備工事の契約締結（令和5年6月） ・道路整備工事の契約締結（計5工事、令和5年6～7月） ・水道布設工事の依頼（令和5年7月） ・道路修正概略設計業務委託の実施（令和4年9月） ・CBR調査業務委託の実施（令和5年1月） ・電気探査業務委託の契約締結（令和5年7月） ・支障物件等移設の実施（水道等計4件）（令和5年2～3月） <p>R4年度決算額 506,121千円 R5年度予算額 4,535,718千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 企業立地促進条例に基づく奨励金交付事業（再掲）

事業内容	産業構造の高度化と雇用の拡大を図るため、北インター工業団地等に立地する高度技術産業等の企業に対し各種奨励金を交付する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○立地企業に対し、土地購入や設備投資、地元雇用に要する経費に係る奨励金を交付



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度交付件数 (R4.4.1~R4.7.31) 立地奨励金1件、設備投資奨励金1件 <p>R3年度決算額 296,382千円 R4年度予算額 253,243千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度交付件数 (R4.8.1~R5.3.31) 立地奨励金3件、操業奨励金4件 令和5年度交付件数 (R5.4.1~R5.7.31) 立地奨励金2件、設備投資奨励金1件 <p>R4年度決算額 252,141千円 R5年度予算額 158,975千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業4： 企業誘致促進事業（再掲）

事業内容	地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、当市の立地環境や支援制度等について総合的なPRを行うとともに、企業ニーズに関する情報収集を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○企業セミナーの開催 ○企業訪問等を通じたトップセールスの実施 ○ガイドブックの更新及び企業ニーズに関する情報収集



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸セミナー2022 開催 (参加者数 7/26 名古屋：約70名、7/27 東京：約150名) ・二役によるトップセールスの実施（県内3社、県外4社） <p>R3 年度決算額 5,910 千円 R4 年度予算額 14,372 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・産業立地ガイドブックの作成（1,000部） ・八戸セミナー2023 開催（7/26 東京、7/27 名古屋）※参加者数集計中 ・二役によるトップセールスの実施 (令和4年度：県内0社、県外3社、令和5年度：県内5社、県外3社) <p>R4 年度決算額 10,027 千円 R5 年度予算額 18,631 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業5：港湾整備促進事業

事業内容	地域経済を支える八戸港の一層の発展を図るため、国や県に対して、航路・泊地などの港湾施設の整備に係る事業費の一部を負担する。
担当課	港湾河川課
取組詳細	<p>○国が実施する航路・泊地及び市川土砂処分場の整備費用の一部を負担</p> <p>○県が実施した八太郎地区2号埠頭のコンテナターミナル拡張事業費の償還金を一部負担</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>○直轄事業</p> <p>・市川土砂処分場整備（概成延長 1,834m/2,132m）</p> <p>R3年度決算額 399,938千円</p> <p>R4年度予算額 44,585千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>○直轄事業</p> <p>・市川土砂処分場整備（概成延長 2,062m/2,132m）</p> <p>○県議会議員に対し、要望事項の説明（令和4年8月25日実施）</p> <p>R4年度決算額 249,985千円</p> <p>R5年度予算額 96,219千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業6：都市計画道路3・3・8号白銀市川環状線整備促進事業

事業内容	地域経済の発展や防災力強化等のため、当市の主要な拠点間を結ぶ3・3・8号白銀市川環状線の整備促進を要望し、事業主体である県に対して事業費の一部を負担する。
担当課	道路建設課
取組詳細	<p>○事業主体である県に対し、尻内工区（街路事業）整備事業費の一部を負担</p> <p>○事業主体である県に対し、重点事業（最重点）として要望</p> <p><事業中工区></p> <p>尻内工区 （街路事業）約 1.3 km</p> <p>天久岱Ⅱ期工区 （道路事業）約 2.5 km</p> <p>市川町Ⅱ期工区 （道路事業）約 0.9 km</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業主体である県に対し、街路整備事業負担金 381,984千円の支出 (令和4年3月31日) <p>R3 年度決算額 381,984千円 R4 年度予算額 254,557千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・県議会議員に対し、要望事項の説明 (令和4年8月25日実施) ・事業主体である県に対し、街路整備事業負担金 93,540千円の支出 (令和5年3月31日) <p>R4 年度決算額 93,540千円 R5 年度予算額 261,087千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業7：三陸沿岸道路利活用促進事業

事業内容	八戸・久慈自動車道の機能強化及び八戸港の物流拠点化の促進を図るため、国・県に対して要望活動を行うとともに、三陸沿岸道路の利用促進に向けた情報発信を行う。
担当課	道路建設課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○三陸沿岸道路等利活用懇談会への出席 ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金の支出 ○八戸・苫小牧フェリー航路を活用した三陸沿岸道路の利活用促進(令和4年度から) <ul style="list-style-type: none"> ①川崎近海汽船(株)へのヒアリング調査 ②八戸・苫小牧フェリー利用者へのアンケート調査 ③広報はちのへ特集記事の掲載



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金 316千円の支出(令和4年6月) ○国会議員・国・県に対して要望活動を実施(令和4年7月) <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 779千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○三陸沿岸道路(北部)・宮古盛岡横断道路利活用WG(令和4年11月17日開催) ○八戸・苫小牧フェリー利用の事業者へヒアリング調査(令和5年1月中旬実施) ○広報はちのへ3月号への特集記事掲載 ○三陸沿岸道路等利活用懇談会(令和5年3月15日開催) ○八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会負担金 316千円の支出(令和5年6月) ○国会議員・国に対して要望活動を実施(令和5年7月) <p>R4年度決算額 598千円 R5年度予算額 800千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 2-6

地域の雇用と経済を支える中小企業・小規模企業の振興条例を制定し、効果的な運用により地域経済の活性化を図ります。

事業 1： 中小企業及び小規模企業振興基本条例推進事業

事業内容	地元中小企業の振興を図るため、条例の周知のほか、中小企業・小規模企業振興会議の効果的な運用により、中小企業・小規模企業の振興に向けた取組を推進する。
担当課	商工課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「中小企業・小規模企業振興基本条例」の制定（令和4年4月1日施行） ○条例の周知（冊子配布、広報はちのへ記事掲載） ○中小企業・小規模企業振興会議の設置・運営



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸市中小企業・小規模企業振興基本条例：令和4年4月1日付け施行 ○条例の周知 <ul style="list-style-type: none"> ①市ホームページ：令和4年5月30日付け全文（PDF）掲載 ②広報はちのへ：令和4年6月号（5月20日発行）に特集記事掲載 <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 1,122千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市中小企業・小規模企業振興会議 <ul style="list-style-type: none"> ①令和4年度に会議を2回開催（令和4年9月、10月） ②令和5年1月19日に「市の中小企業・小規模企業振興施策に対する意見」を取りまとめた意見書を市長に提出 ③意見書の提出を受け、次年度事業に反映 例）はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業（拡充）、高校生による地元企業魅力発見体験事業（R5新規）青森県伴走支援型借換資金融資制度保証料補給事業（R5新規）など ・条例の周知 <ul style="list-style-type: none"> ①特集小冊子の作成：令和5年2月に完成（2,000部） <p>【今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八戸市中小企業・小規模企業振興会議 <ul style="list-style-type: none"> ①令和5年度に会議を3回開催予定（令和5年7月（開催済）、8月、9月） ②令和5年10月に「市の中小企業・小規模企業振興施策に対する意見」を取りまとめた意見書を市長に提出 ③意見書の提出を受け、必要に応じて次年度事業に反映 <p>R4年度決算額 584千円 R5年度予算額 498千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策2-7

次代の経済活性化に向けて起業家を支援するプラットフォームを構築し、起業家同士の交流や起業を志す若者や女性に対する起業支援体制を拡充することで、「創業拠点都市・八戸」を目指します。

事業1： はちのへ創業・事業承継サポートセンター運営事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、創業及び事業承継の支援拠点として「はちのへ創業・事業承継サポートセンター」を設置し、相談員等による相談対応を実施する。
担当課	商工課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○相談対応の実施 ○創業希望者の交流事業の実施 ○創業及び事業承継に関するセミナーの実施 ○若者や女性をはじめとした起業家を支援するためのプラットフォームの構築（令和5年秋頃）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談者数：103人 ・相談件数：450件 ・創業者数：20人 ・事業承継成立件数：7件 ・「事業の未来を描くための『つなぐ』セミナー」開催（令和3年12月） →参加者数：18名 ・「第6回はちのへ女性創業スクール」開催（令和3年11月～12月） →参加者数：21名 ・「令和3年度はちのへ創業スクール」開催（令和4年1月） →参加者数：12名
		R3年度決算額 17,052千円 R4年度予算額 18,076千円

	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新規相談者数：153人 ・相談件数：617件 ・創業者数：52人 ・事業承継成立件数：7件（6月末） ・「第7回はちのへ女性創業スクール プレセミナー」開催（令和4年8月） →参加者数：7名 ・「はちのへ女性創業スクール リターンズ」開催（令和4年8月） →参加者数：8名 ・「第7回はちのへ女性創業スクール」開催（令和4年9月～10月） →参加者数：10名 ・「今さら聞けない SNS 活用セミナー」開催（令和4年10月） →参加者数：28名 ・「事業の未来を描くための『つなぐ』セミナー」開催（令和4年11月） →参加者数：17名 ・「8サポ創業クラブ 情報交換会&交流会」開催（令和4年12月） →参加者数：3名 ・「8サポ創業クラブ 情報交換会&交流会」開催（令和5年1月） →参加者数：9名 ・「令和4年度はちのへ創業スクール」開催（令和5年2月～3月） →参加者数：3名 <p>R4 年度決算額 17,537 千円 R5 年度予算額 23,482 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：新規会社設立補助事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、市内において新規に会社設立を行う事業者に対し、会社設立に係る登録免許税等の経費の一部を補助する。
担当課	商工課
取組詳細	<p>○会社設立にかかる登録免許税等の経費の一部を補助</p> <p>①株式会社を設立する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録免許税 75,000 円 ・定款認証手数料 30,000 円 ※令和5年度より補助対象経費拡充 <p>②合名・合資・合同会社を設立する場合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録免許税 30,000 円



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付要領制定（令和4年4月） →交付決定：合同会社 1件/30,000円 <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 900千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金交付要領制定（令和5年4月） →交付決定：株式会社 4件/330,000円 <p>R4年度決算額 255千円 R5年度予算額 900千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

政策3 持続可能なより良い社会の実現

重点施策3-1

SDGs（持続可能な開発目標）に対する市民の理解と取り組みを推進するために、教育機関・企業・関係団体等への情報発信や啓発活動を行います。

事業1：SDGs情報発信・啓発事業

事業内容	市全体においてSDGs推進の意識の醸成を図るため、市職員向け研修や市民向け講演会を開催するとともに、市内企業等が取り組むSDGsに関する取組の情報を発信する。
担当課	政策推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○SDGs研修（職員向け）の実施 ○SDGs講演会（市民向け）の開催 ○SDGsに関する情報発信 ○高等教育機関との連携 ○SDGs未来都市への応募の検討、検討結果に基づいた対応



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・第7次総合計画に、施策との関連が深いSDGsのゴールのアイコンを掲載 ・八戸青年会議所とSDGs普及啓発に関する協定を締結（令和4年6月） ・八戸市民大学講座「今後どうする？私たちの暮らし～SDGsと消費生活～」開催（令和4年6月）→受講者数：204人／講演の満足度：89% ※受講者へのアンケートにおける「非常に満足」「満足」の合計 ・広報はちのへにSDGsの取組を紹介する連載記事を掲載（令和4年度から） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 2,076千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・合同会社8と連携したSDGsパネルディスカッションの開催（令和4年8月） ・株式会社青森テレビとSDGs普及啓発に関する協定を締結（令和4年9月） ・市職員が講師を務める出前講座実施 （1回目 令和4年9月八戸市立第一中学校3年生・教員、2回目 令和5年1月市内児童館館長・職員） ・第1回SDGsセミナー「笑って学ぶSDGsセミナー」開催（令和4年12月） →講師 笑下村塾 代表 たかまつ なな氏 →受講者数：70人／講演の満足度：100% ※受講者アンケートにおける「非常に満足」「満足」の合計 ・職員向けSDGs研修会の開催（令和5年2月） →受講者数：70人 <p>R4年度決算額 1,394千円 R5年度予算額 2,300千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策3-2

再生可能エネルギーの導入など、脱炭素化への取り組みを通じて、経済・社会・環境のバランスの取れた、グリーン・循環型社会の実現を目指します。

事業1：脱炭素化推進事業

事業内容	脱炭素化の推進に関する普及啓発を図るため、環境に配慮した事業に取り組む企業を視察する見学会や出前講座、省エネルギーに関するセミナーを開催するとともに、全庁的に脱炭素化に取り組むため、庁内検討会を実施する。
担当課	環境政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○全庁的に脱炭素化に取り組むための庁内検討会を設置・運営 ○環境に配慮した事業に取り組む企業への見学会や環境出前講座、省エネセミナー等の開催 ○各種計画の策定。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市グリーン社会推進プロジェクト庁内検討会を設置・開催（令和4年6月） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 137千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市グリーン社会推進プロジェクト庁内検討会を開催（令和4年8月・10月） ・環境出前講座を開催（令和4年11月・参加者9名） ・エコツアーを開催予定（令和5年10月） 対象：小学生。東北経済産業局との共催事業。 ・省エネセミナーを開催予定（令和5年9月） 対象：市民。青森県との連携事業。 ・第3次八戸市環境基本計画を策定予定（令和5年9月末） ・第2次八戸市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定予定（令和5年9月末） ※両計画ともに令和5年6月から7月にかけてパブリックコメント実施。 ・公共施設における再エネ設備の導入や国の補助事業実施の可能性等について検討中 <p>R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 132千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業 2： 地球温暖化対策理解促進事業

事業内容	二酸化炭素の排出削減に関する理解促進を図るため、八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会と連携し市内企業との意見交換を実施するとともに、中小企業を対象とした省エネ相談会等を実施する。
担当課	環境政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会との連携による市内企業との意見交換を実施 ○中小企業向け省エネ相談会等を開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会にオブザーバーとして参画 設立総会及び令和4年度第1回協議会出席（令和4年4月） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会にオブザーバーとして参画 令和4年度第2回協議会出席（令和4年11月） 令和5年度総会及び第1回協議会出席（令和5年5月） ・八戸地域新ゼロエミッション連絡協議会事務局との意見交換 （令和4年10月、令和5年4月に実施） <p>・中小企業向け省エネ相談会等の事業について予算化し、開催時期調整中。 R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 156千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策3-3

行政・市民生活のデジタル化を加速させ、効率的かつ安全・安心な行政サービスを提供するために、民間人材の登用も視野にデジタル推進室を設置します。

事業1：行政のデジタル化体制強化事業

事業内容	行政のデジタル化を推進し、市民生活にも積極的に普及させるため、庁内に新たにデジタル推進部署を設置する。
担当課	人事課、情報政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「デジタル推進室」を新設 ○デジタル推進室においてデジタル推進計画を策定（令和5年2月） ○デジタル推進専門員の配置（令和4年10月） ○デジタル化に関する職員向け研修会を実施（令和4年度2回実施、令和5年度3回程度予定） ○八戸ITフォーラム等の開催（令和5年10月予定） ○八戸市統合スマートフォン用アプリの導入（令和5年10月予定） ○市庁舎や公共施設窓口におけるキャッシュレス決済の導入（令和5年度中） ○本庁舎等におけるフリーWi-Fiエリアの拡大（令和5年度中）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政管理課内に「デジタル推進室」を新設（令和4年4月） 人員体制：6人（うち兼務職員2人） ・デジタル推進室における取組 <ul style="list-style-type: none"> ①八戸市デジタル推進本部、庁内連絡会議を設置・運営（令和4年5月～） ②デジタル推進計画策定に向けた基本方針を策定（令和4年7月） <p>R3 年度決算額 2,389 千円 R4 年度予算額 35,536 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル技術に関する専門的な知見を有する「情報システム調整監（課長級）」を新設 ・情報政策課内に「デジタル推進室」を移管（令和5年4月） 人員体制：8人 ・デジタル推進室における取組 <ul style="list-style-type: none"> ①デジタル推進計画の策定（令和5年2月） ②デジタル推進専門員の配置（令和4年10月） ③デジタル化に関する職員向け研修会を実施（令和4年度延べ160人参加、令和5年度26人参加） ④八戸ITフォーラム等の開催（令和5年10月予定） ⑤八戸市統合スマートフォン用アプリの導入（令和5年10月予定） ⑥市庁舎や公共施設窓口におけるキャッシュレス決済の導入（令和5年度中） ⑦本庁舎等におけるフリーWi-Fiエリアの拡大（令和5年度中） ⑧行政手続きオンライン化の活用推進（県電子申請システム18手続、マイナポータル32手続） ⑨RPA、AI-OCR活用による業務効率化の推進（6課6業務） <p>R4 年度決算額 28,263 千円 R5 年度予算額 64,161 千円</p>

	3年目	—
	4年目	—

政策4	スポーツ&文化で地域と経済の活性化
------------	------------------------------

重点施策4-1

スポーツを通じた人材の育成、健康寿命の延伸、スポーツ産業の振興による地域の活性化に向けて、「スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会」を立ち上げます。

事業1： 八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進事業

事業内容	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを推進するため、八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会を新たに設置し、八戸市スポーツ推進計画における事業進捗等の外部評価を行う。
担当課	スポーツ振興課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会の設置・運営 ○スポーツの実施状況に関するアンケート調査 ○八戸市スポーツ推進計画進行管理報告書作成 ○八戸市スポーツ推進計画の見直しや改訂等についての検討



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施状況に関するアンケート調査実施(令和4年3月22日~4月27日) →回答数：市民284人 ・八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会開催 →令和4年5月24日開催 →委嘱状交付、八戸市スポーツ推進計画の進捗状況等について審議 <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 88千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツの実施状況に関するアンケート調査実施(令和5年3月22日~4月21日) →回答数：市民184人 ・八戸市スポーツによる人・健康・まちづくり推進協議会開催 →7月末現在：2回開催(全4回予定) →第1回協議会 八戸市スポーツ推進計画の改定について(審議) 八戸市スポーツ推進計画の進捗状況等について(審議) →第2回協議会 八戸市スポーツ推進計画の改定(案)について(諮問・審議) <p>R4年度決算額 79千円 R5年度予算額 355千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策4-2

八戸市体育館の建て替え構想に際し、従来のスポーツ競技や観戦のほか、避難所・各種コンベンションの開催など多目的利用が可能な施設を検討します。

事業1：新体育館整備事業

事業内容	スポーツのもつ価値を活かしたまちづくりを推進するため、スポーツ振興の拠点となる新たな八戸市体育館を整備するもの。
担当課	スポーツ振興課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸市体育施設整備検討委員会の開催 ○八戸市体育館の建て替えに関する基本構想の策定 ○八戸市体育館の建て替えに関する基本計画の策定及び事業手法検討調査を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市体育施設整備検討委員会開催 →7月末現在：5回開催(全7回予定) →委嘱状交付、基本構想(案)等について審議 ・八戸市体育館の建て替えに関する基本構想(案)に対するパブリックコメント実施 (令和4年7月21日～8月31日) <p>R3年度決算額 255千円 R4年度予算額 352千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市体育施設整備検討委員会開催 →7月末現在：2回開催(1年目と併せて全7回完了、基本構想について答申) ・八戸市体育館の建て替えに関する基本構想策定(令和4年11月) ・八戸市体育館の建て替えに関する基本計画策定及び事業手法検討調査業務委託 →令和5年度内に基本計画策定予定 <p>R4年度決算額 352千円 R5年度予算額 26,335千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策4-3

「北東北のコンベンションシティ八戸」を掲げ、イベントや会議などの誘致を積極的に進めると共に、八戸市の魅力を発信し経済波及効果を創出します。

事業1：VISITはちのへ活動支援事業（再掲）

事業内容	観光物産振興を図るため、八戸圏域版DMO「（一財）VISITはちのへ」が取り組む各種事業を支援する。
担当課	観光課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○（一財）VISITはちのへが取り組む各種事業に補助金を交付 <ul style="list-style-type: none"> ・「食のまち・八戸」プロモーション事業 ・圏域物産紹介販売推進事業 ・物産展・商品見本市・商談会事業 ・MICE（会議・コンベンション等誘致）事業 ・誘客推進事業 ・物産振興事業 ・情報発信事業



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度VISITはちのへ補助金交付確定 119,719,194円（令和4年5月18日） ○令和4年度VISITはちのへ補助金交付決定 140,531,000円（令和4年5月27日） <ul style="list-style-type: none"> ・「食のまち・八戸」関連事業分 令和3年度VISITはちのへ補助金交付確定 3,120,987円 ・「MICE」実績 令和3年度MICE誘致実績（八戸市小規模MICE補助金交付実績） 3件（金額392,000円） ・「情報発信」事業実績 令和3年度VISITはちのへ補助金交付確定 19,243,442円 取組内容：デジタルマーケティング事業、SNS・HP関連事業、広報戦略プロモーション事業
		R3年度決算額 119,719千円 R4年度予算額 180,000千円

	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>○令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 126,505,498 円 (令和5年5月18日)</p> <p>○令和5年度 VISIT はちのへ補助金交付決定 185,000,000 円 (令和5年5月26日)</p> <p>・「食のまち・八戸」関連事業分 令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 8,909,868 円</p> <p>※VISIT はちのへでは、令和4年から令和7年度の4か年事業として「食のまち八戸プロモーション事業」に取り組むもので、令和4年度は試食イベントやアンケート調査による需要分析を実施し、その結果を基に令和5年度以降は販路拡大のための販売促進活動を実施する予定。</p> <p>・「MICE」実績 令和4年度 MICE 誘致実績 (八戸市小規模 MICE 補助金交付実績) 6 件 (金額 882,000 円)</p> <p>・MICE プロモーション</p> <p>①令和4年度東北地区 MICE 誘致商談会 (主催:東北地区コンベンション推進協議会) 参加。</p> <p>②第32回国際 MICE エキスポ IME2023 (主催:一般社団法人日本コンgres・コンベンション・ビューロー) に青森県ブースとして参加。</p> <p>・「情報発信」事業実績 令和4年度 VISIT はちのへ補助金交付確定 17,029,304 円 取組内容:デジタルマーケティング事業、SNS・HP 関連事業、広報戦略プロモーション事業</p> <p>R4 年度決算額 126,506 千円 R5 年度予算額 185,000 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策4-4

中心市街地において、商業機能や公共施設と文化事業(美術・文学・演劇・音楽)との連携によるエリアマネジメントに取り組み、市民のコミュニティ豊かな魅力ある街づくりを目指します。

事業1：文化事業と商業機能との連携事業

事業内容	地域経済の活性化を図るため、中心市街地における文化・スポーツ施設が提供するプログラムを通じた交流人口の増加や中心商店街へ回遊する仕掛けづくりに取り組む。
担当課	文化創造推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸市美術館のイベントに関連した取組の実施(八戸市美術館) ○「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター～」の開催(八戸ポータルミュージアム) ○八戸ブックセンター企画事業(八戸ブックセンター) ○更上閣ガーデンレストラン トライアル事業の実施(文化創造推進課)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・「まるごと馬場のぼる展」に関連した取組の実施(令和4年7月～)※美術館 <ul style="list-style-type: none"> ①中心商店街での「まるごと馬場のぼる展」フラッグ掲出 計18本 ②回遊マップの作成・配布(各店舗において、美術館のシールチケット提示による割引サービスや、展覧会関連グッズの販売等を実施) 15,000枚作成 / 配付先:参加店舗(市中心街38店舗、三戸町8店舗) ③回遊マップを活用した、まち歩きイベントの開催(令和4年8月11日) 参加者:7名 ・八戸ブックセンター企画事業 ※ブックセンター <ul style="list-style-type: none"> ① パワープッシュ作家「山のふもとのブレイクタイム」「柊先生の小さなキッチン～雨のち晴れの林檎コンポート～」刊行記念関連企画(令和3年12月12日) 再現料理の販売:7店舗(はっち館内テナント、中心街飲食店)(会場:はっちひろば) トークイベント参加者:18名(会場:はっちひろば) ② 新春記念「暁斎と蕭白」W屏風特別公開(帆風美術館～デジタル光筆画で見る屏風の世界～)(令和3年12月24日～27日, 令和4年1月2日～24日) (会場:八戸ブックセンター)※令和3、4年成人式の撮影スポットとして設置 ③ アカデミックトーク「北村益の演武映像と北村小松」(令和4年4月23日) 参加者:26名(会場:はっちシアター2) ④ パワープッシュ作家「羊毛フェルトの比重」刊行記念イベント(令和4年6月5日) 参加者:第1部(ワークショップ)8名、第2部(トークイベント)13名 (会場:カフェ&バー「パトリ」(六日町いわとくパルコ本館4階)) <p>R3年度決算額 40千円(ブックセンター 40) R4年度予算額 440千円(美術館 395・ブックセンター 45)</p>
-------------	-------------------	--

2年目
(R5.7月
末時点)

- ・「美しいHUG！」展に関連した取り組みの実施 ※美術館
陶芸家・美術館のきむらとしろうじんじんが、八戸で野点を行うプロジェクト、「きむらとしろうじんじん野点 in 八戸」の開催にあたり、スタッフとして参加するボランティアや興味がある方がじんじんさんと一緒に野点開催地探す「おさんぼ会」を、令和5年6月9日（土）、6月10日（日）、7月16日（日）7月17日に中心街で実施。
 - ・横丁の路地やお店を会場としたパフォーマンスを行う「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター2022～」を令和4年10月8日と10月9日に開催 ※はっち
主催：酔っぱらいに愛を実行委員会
場所：中心街の7会場（屋外1会場含む）で出演アーティスト7組による公演を実施（来場者数481名）
 - ・横丁の路地やお店を会場としたパフォーマンスを行う「酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター2023～」を令和5年10月12日から14日に開催予定
主催：酔っぱらいに愛を実行委員会
場所：中心街横丁ほか各所（予定）
 - ・八戸ブックセンター事業 ※ブックセンター
 - ①「いつもだれかが見ている」刊行記念展示「見えるものとかたるもの」
 - ・物語・写真展（令和4年8月3日～29日）（会場：美術館）
 - ・トークイベント 参加者9名（令和4年8月3日）（会場：美術館）
 - ・ワークショップ 参加者9名（令和4年8月6日）（会場：美術館）
 - ②パワープッシュ作家・呉勝浩
 - ・トークイベント 参加者80名（令和4年9月11日）（会場：はっち）
 - ③本のまち八戸ブックフェス
 - ・一箱古本市、書店・古書店・出版社・飲食店ブース、移動図書館車展示、学校図書館ブックリサイクル等（令和4年9月25日）（会場：はっち、マチニワ、ブックセンター）
 - ④ギャラリー展「紙から本ができるまで展」
 - ・美術館の企画展「佐藤時啓-八戸マジックランタン-」と連携した企画展（令和4年10月29日～令和5年1月9日）
 - ⑤執筆出版ワークショップ・超ショートショート講座
 - ・高校生向けワークショップ 参加者23名（令和5年3月25日～26日）（会場：ばんらぼ）
 - ⑥ギャラリー展「仲條正義名作展」
 - ・美術館の企画展と連携した企画（令和5年3月25日～5月21日）
 - ⑦「贈ること／贈られること ～ZINE『Playground』ができるまで～」
 - ・ファッションデザイナー、ミュージシャンによるクロスステッチ刺繍ワークショップ、トークイベント、ミニライブ
参加者延べ105名（令和5年5月6日）（会場：パトリ）
 - ⑧アカデミックトーク「ペンと私 竹内修司さん大いに語る」
 - ・トークイベント 参加者120名（令和5年6月24日）（会場：はっち）
 - ・更上閣ガーデンレストランライアル事業 ※文化創造
国の登録有形文化財である更上閣及び更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげることを目的に、キッチンカー等を活用した実証実験を実施。
- 令和4年度
- (1)日 時 令和4年10月15日（土）～24日（月）11時～14時（3時間）
※10月23日（日）を除いた9日間。
 - (2)出店回数 8事業者 延べ39回
 - (3)来場者数 約1,050人 ※更上閣見学者数：28組71人
- 令和5年度
- (1)日 時 令和5年6月8日（木）～11日（日）11時～14時（3時間）
 - (2)出店回数 12事業者 延べ23回
 - (3)来場者数 約870人 ※更上閣見学者数：31組67人

○令和4年度の内容に加え、期間中に、中心街の回遊と賑わい創出を目的として、美術館及び八戸ポータルミュージアムと連携し、音楽演奏を聴きながら飲食を楽しむ夜のイベント「ヨルニワ」を開催。

ヨルニワ（夜の音楽イベント）

(1)日 時 令和5年6月10日（土） 18時～20時（2時間）

(2)出店者・出演者

更上閣・更上閣にぎわい広場	3店舗・3組
美術館マエニワ	4店舗・1組
はっち1階 カフェバル Rit.	2店舗・2組

(3)来場者

更上閣・更上閣にぎわい広場	約360人
美術館マエニワ	約440人
はっち1階 カフェバル Rit.	約160人

※令和5年10月に、今年度2回目の開催を予定

R4年度決算額 3,893千円（はっち 1,500、ブックセンター 2,248、文化創造 145）

R5年度予算額 2,785千円（はっち 1,500、ブックセンター 120、文化創造 1,165）

3年目

—

4年目

—

事業2：中心街ストリートデザイン事業

事業内容	三日町・十三日町の街路をひとつ中心の空間へ転換することを目指し、関係者との合意を形成するほか、ストリートデザインビジョンを策定し、ビジョンに沿った街路空間の再編や街路空間での商業活動を推進する。
担当課	まちづくり推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市民参加型の勉強会の開催 ○県と連携したまちなかウォークアブル推進事業の実施に向けた都市再生整備計画（まちなかウォークアブル推進事業）を作成（令和5年3月6日策定） ○国道340号三日町・十三日町区間で実証試験の実施（令和5年8月～9月予定） ○八戸市中心街ストリートデザインビジョンの策定（令和6年3月予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートデザイン勉強会を2回開催 令和4年 4月30日 → 46人参加 令和4年 6月26日 → 40人参加 <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 3,751千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ストリートデザイン勉強会を3回開催 令和4年 8月27日 → 30人参加 令和4年 10月26日 → 17人参加（沿道関係者限定） 令和4年 12月21日 → 14人参加（沿道関係者限定） 令和5年 2月16日 → 24人参加（沿道関係者限定） ・都市再生整備計画（まちなかウォークアブル推進事業）を作成（令和5年3月6日） (今後の予定) ・国道340号三日町・十三日町区間で実証試験の実施（令和5年8月～9月予定） ※居心地の良い中心街を形成するために実証試験する。ベンチやテーブルの設置、 露天・キッチンカーの出店、ストリートライブの開催等の活動を実施。 ・八戸市中心街ストリートデザインビジョンの策定（令和6年3月予定） <p>R4年度決算額 3,733千円 R5年度予算額 25,457千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

政策5	安心・安全な市民の暮らしを守る
-----	-----------------

重点施策5-1

超高齢社会に向けて、医療・介護・予防等の生活支援を総合的に推進するために、デジタルシステムを活用した「地域共生社会」の実現を目指します。

事業1：在宅医療介護ICT連携推進事業

事業内容	医療と介護の両方を必要とする高齢者（看取りケア対象者含む）に対し、切れ目なく在宅医療と介護を提供するため、ICTツールを活用した連携体制を構築する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTツール活用推進 ○切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ○連携における課題の抽出 ○市民への普及啓発



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTツール(mell+community)登録262事業所、登録利用者数10,468人 ○Connect8事例検討会の実施(8回、令和3年11月～令和4年7月分) ○八戸市医療と介護の多職種連携意見交換会開催(令和4年2月16日) ○ICTツールを活用したワーキンググループの立ち上げ及び意見聴取実施(令和4年5～7月) ○ICTツール活用促進を目的とした研修(包括的支援事業研修会)を実施 R3年度決算額 4,642千円 R4年度予算額 5,273千円
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTツール(mell+community)登録293事業所、登録利用者数12,242人(R5.6) ○Connect8事例検討会の実施12回 R4年度決算額 5,258千円 R5年度予算額 5,273千円
	3年目	—
	4年目	—

事業2：包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、介護予防やケアマネジメント等（看取りケア等を含む）に関する包括的支援事業研修会を開催する。
担当課	高齢福祉課
取組状況	○研修会（医療・介護関係者向け）の開催 ○市民向け啓発：マイライフノート作成協力・配布、パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>○研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3.12.1、八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催。 ※R4年度も12月開催予定 対象者：医療・介護関係者（参加者 96名） テーマ：アドバンス・ケア・プランニングとは「何？」&「どのように？」 講師：岩手保健医療大学臨床倫理研究センター長 清水 哲郎氏 ・R4年度、包括的支援事業研修会を年3回企画・開催予定（ZOOMミーティング） 対象者：介護支援専門員 他関係機関 テーマ：8/24「入退院支援の実際」、9/14「望む医療の選択について」、開催時期未定「ICT連携ツールの活用」 <p>○市民向け啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイライフノート紹介・配布 ・パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月） <p>R3年度決算額 27千円 R4年度予算額 128千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>○研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全3回 包括的支援事業研修会を開催 対象者：介護支援専門員 他関係機関 参加者 計 212名 テーマ：R4.8.24「入退院支援の実際」、R4.9.14「望む医療の選択について」 R5.1.18「ICT連携ツールの活用」 ・R4.12.21 八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催 対象者：医療・介護関係者（参加者 46名） テーマ：「ACPを疑似体験を通して考える」 講師：福)中央福祉会 特別養護老人ホーム三思園 高橋 進一 氏 ※R5年度も「ACP」をテーマに12月開催予定 <p>○市民向け啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイライフノート紹介・配布（イベントでの展示配付） ・R4年8月リーフレット「最後の医療について考えてみませんか」作成・配布 ※R5年度もパンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（9月） <p>R4年度決算額 100千円 R5年度予算額 210千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策5-2

介護人材を確保するため、資格取得支援、人材育成、町内会単位での支援体制の整備、市独自のヘルパー制度(軽度者に対するサービス提供)の創設などに取り組みます。

事業1: 介護の仕事理解促進事業

事業内容	介護人材の確保や若年層の介護職に対するイメージアップを図るため、中学校・高等学校での出前講座の開催や、PR冊子・市HPを活用した情報発信を行う。
担当課	介護保険課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市HPを活用した情報発信(介護人材確保・定着応援・魅力発信関連リンク) ○PR冊子の配付 ○出前講座の実施 ○PR動画の配信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・PR動画(出前講座のダイジェスト)の限定配信(R3年12月から) →中学校26校、高等学校17校 ・出前講座の実施 高等学校1校(R4年7月) 内容:介護職の魅力・誇りに関する講話、介護ロボット体験により介護職への関心を高めた。 →参加生徒数26人 ・出前講座でPR冊子を配付(26冊) <p>R3年度決算額 405千円 R4年度予算額 475千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 高等学校1校(令和5年7月28日) ・内容:施設での仕事内容についてスライドで紹介、仕事と家庭の両立など疑問に回答、高齢者疑似体験、介護ロボット体験により介護職への理解関心を高めた。 →参加生徒14人 ・出前講座でPR冊子を配布(14冊) <p><今後の実施予定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・出前講座の実施 中学校2校(令和5年9月、10月実施予定) <p>R4年度決算額 475千円 R5年度予算額 429千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：地域包括支援センター運営事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、市内に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置し、介護予防支援事業や包括的支援事業を実施する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括支援センターの運営 ○包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）の実施 ○介護予防支援（介護予防ケアマネジメント等）の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 5,877件 ・地域ケア会議個別会議 32回、地域ケア会議圏域会議 9回 ・認知症地域支援推進員の配置 20人 ○介護予防支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防把握事業（実態把握） 2,233件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 137件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 117回 ○町内見守りネットワーク 38町内 <p>R3年度決算額 206,316千円 R4年度予算額 214,374千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 8,663件 ・地域ケア会議個別会議 47回、地域ケア会議圏域会議 13回 ・認知症地域支援推進員の配置 17人 ○介護予防支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防把握事業（実態把握） 3,209件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 279件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 221回 ○町内見守りネットワーク 43町内 <p>※R4.8月～R5.6月までの実績。 R4年度決算額 200,758千円 R5年度予算額 238,750千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 介護予防・日常生活支援総合事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、各種介護サービスの提供や支援員の養成を行う。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防訪問介護相当サービス、訪問型サービスAを提供 ○介護予防通所介護相当サービス、通所型サービスCを提供 ○訪問型サービスAにおいて、生活援助サービスを提供する訪問支援員を養成



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防訪問介護相当サービス 3,427件 ○訪問型サービスA 29件 ○介護予防通所介護相当サービス 7,933件 ○通所型サービスC 161件※ <p>(内訳：運動機能向上 155件、認知症予防 6件) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため R4.1.21～4月末まで休止 認知症予防は R4 年度休止中</p> <p>R3 年度決算額 425,956 千円 R4 年度予算額 439,010 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防訪問介護相当サービス 4,534件 (R5.6まで) ○訪問型サービスA 76件 (R5.6まで) ○介護予防通所介護相当サービス 11,165件 ○通所型サービスC 262件 (R5.6まで) ※ <p>(内訳：運動機能向上 216件、口腔 3件、運動・認知複合型 43件) ※認知症予防は R4 年度休止 R5 年度から運動機能向上と認知症予防は運動・認知複合型プログラムへ見直し</p> <p>○訪問支援員養成研修 (開催日 R5.2.16 参加者 9名)</p> <p>R4 年度決算額 415,059 千円 R5 年度予算額 425,334 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業4： 介護業務の革新・業務効率化事業

事業内容	介護従事者の負担を軽減するため、介護ロボットや ICT 機器の導入を促進するとともに、モデル事務所による講義を行う。
担当課	介護保険課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○研修会の開催 ○介護ロボットや ICT 機器を導入するための支援（相談） ○市ホームページを活用した情報発信（介護ロボットや ICT 機器の導入の補助事業）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	・研修会開催（令和5年10月10日(火)） 定員:集合 65 人 Web90 人 ・ICT 機器や介護ロボットの活用、ノーリフティングケア等についての理解を深める。 R4 年度決算額 千円 R5 年度予算額 204 千円
	3年目	—
	4年目	—

重点施策5-3

医療・介護の連携をより一層推進させ、住み慣れた地域で安心して在宅医療を受けることができる仕組みづくりを目指すと共に、終末期医療体制の整備に取り組みます。

事業1：在宅医療介護ICT連携推進事業（再掲）

事業内容	医療と介護の両方を必要とする高齢者（看取りケア対象者含む）に対し、切れ目なく在宅医療と介護を提供するため、ICTツールを活用した連携体制を構築する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTツール活用推進 ○切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ○連携における課題の抽出 ○市民への普及啓発



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTツール (mell+community) 登録262事業所、登録利用者数10,468人 ○Connect8事例検討会の実施(8回、令和3年11月～令和4年7月分) ○八戸市医療と介護の多職種連携意見交換会開催(令和4年2月16日) ○ICTツールを活用したワーキンググループの立ち上げ及び意見聴取実施(令和4年5～7月) ○ICTツール活用促進を目的とした研修(包括的支援事業研修会)を実施 R3年度決算額 4,642千円 R4年度予算額 5,273千円
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○ICTツール (mell+community) 登録293事業所、登録利用者数12,242人 (R5.6) ○Connect8事例検討会の実施12回 R4年度決算額 5,258千円 R5年度予算額 5,273千円
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業（再掲）

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、介護予防やケアマネジメント等（看取りケア等を含む）に関する包括的支援事業研修会を開催する。
担当課	高齢福祉課
取組状況	○研修会（医療・介護関係者向け）の開催 ○市民向け啓発：マイライフノート作成協力・配布、パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>○研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R3.12.1、八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催。 ※R4年度も12月開催予定 対象者：医療・介護関係者（参加者 96名） テーマ：アドバンス・ケア・プランニングとは「何？」&「どのように？」 講師：岩手保健医療大学臨床倫理研究センター長 清水 哲郎氏 ・R4年度、包括的支援事業研修会を年3回企画・開催予定（ZOOMミーティング） 対象者：介護支援専門員 他関係機関 テーマ：8/24「入退院支援の実際」、9/14「望む医療の選択について」、開催時期未定「ICT連携ツールの活用」 <p>○市民向け啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイライフノート紹介・配布 ・パンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（8月） <p>R3年度決算額 27千円 R4年度予算額 128千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>○研修会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全3回 包括的支援事業研修会を開催 対象者：介護支援専門員 他関係機関 参加者 計 212名 テーマ：R4.8.24「入退院支援の実際」、R4.9.14「望む医療の選択について」 R5.1.18「ICT連携ツールの活用」 ・R4.12.21 八戸市医療と介護の多職種連携研修会を開催 対象者：医療・介護関係者（参加者 46名） テーマ：「ACPを疑似体験を通して考える」 講師：福)中央福祉会 特別養護老人ホーム三思園 高橋 進一 氏 ※R5年度も「ACP」をテーマに12月開催予定 <p>○市民向け啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイライフノート紹介・配布（イベントでの展示配付） ・R4年8月リーフレット「最後の医療について考えてみませんか」作成・配布 ※R5年度もパンフレット（ACPについて）作成・配布を計画（9月） <p>R4年度決算額 100千円 R5年度予算額 210千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3：地域包括支援センター運営事業（再掲）

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、市内に委託型地域包括支援センター（高齢者支援センター）を設置し、介護予防支援事業や包括的支援事業を実施する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○地域包括支援センターの運営 ○包括的支援業務（総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援）の実施 ○介護予防支援（介護予防ケアマネジメント等）の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 5,877件 ・地域ケア会議個別会議 32回、地域ケア会議圏域会議 9回 ・認知症地域支援推進員の配置 20人 ○介護予防支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防把握事業（実態把握） 2,233件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 137件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 117回 ○町内見守りネットワーク 38町内 <p>R3年度決算額 206,316千円 R4年度予算額 214,374千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○12の日常生活圏域に高齢者支援センターを設置 ○包括的支援業務の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談支援（一般・困難・虐待） 8,663件 ・地域ケア会議個別会議 47回、地域ケア会議圏域会議 13回 ・認知症地域支援推進員の配置 17人 ○介護予防支援の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防把握事業（実態把握） 3,209件 ・介護予防普及啓発事業（介護予防教室） 279件 ・地域介護予防活動支援事業（ボランティアの育成・活用） 221回 ○町内見守りネットワーク 43町内 <p>※R4.8月～R5.6月までの実績。 R4年度決算額 200,758千円 R5年度予算額 238,750千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業4：高齢者福祉に関する理解促進事業

事業内容	高齢者の自立支援、介護予防又は重症化防止を図るため、高齢者福祉に携わる行政職員や介護・福祉サービス事業に携わる関係者、介護・福祉に関心のある住民等を対象として、看取りケア等に関する研修会を開催する。
担当課	高齢福祉課
取組状況	○研修会の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>(参考)</p> <p>令和3年11月10日実施 高齢者福祉合同研修会（連携事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 ハイブリッド形式（各市町村会場及びオンライン配信） ・テーマ グリーフケア・看取りについて（基礎編） ～支える・つながるチームケア～ ・講 師 西片医療福祉研究会 代表 山田 美代子 氏 <p>R3 年度決算額 41 千円 R4 年度予算額 171 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>令和4年11月7日実施 高齢者福祉合同研修会（連携事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 ハイブリッド形式（各市町村会場及びオンライン配信） ・テーマ グリーフケア・看取りについて（応用編） ～支える・つながるチームケア～ ・講 師 西片医療福祉研究会 代表 山田 美代子 氏 一部事務組合下北医療センターむつ総合病院 認知症看護認定看護師 橋本 琢磨 氏 <p>令和5年11月2日予定 高齢者福祉合同研修会（連携事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者 高齢福祉関係事業所の職員 ・場 所 八戸市総合保健センター大ホール（集合形式） ・テーマ ぴんぴんころりの秘訣～お看取りを地域で支えるために必要なこと～ ・講 師 中部上北広域事業組合 公立七戸病院 院長 小野 正人氏 社会福祉法人美土里会 特別養護老人ホーム美土里荘 副園長 盛田 一栄氏 <p>R4 年度決算額 26 千円 R5 年度予算額 170 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業5：総合的ながん対策事業

事業内容	総合的ながん対策の充実を図るため、専門的ながん医療の提供や地域のがん診療の連携協力体制の構築に取り組むとともに、がん患者に関する相談支援及び情報提供を行う。
担当課	市民病院
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○診療体制の整備 ○地域のかかりつけ医を対象とした研修の実施 ○患者に対する相談支援及び情報提供



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種がんサボードの定期実施 ・緩和ケア病棟の実入院患者数 110人 ・がん診療に関する講演会（緩和ケア）の実施と地域へ向けた配信 ・がん相談支援センターでの相談支援・情報提供の実施 <p>R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回多職種がんサボードを実施 ・緩和ケア病棟の実入院患者数 117人 ・がん診療に関する講演会を2回実施した（11月24日・12月12日） ・がん相談支援センターでの相談支援・情報提供の実施 <p>R4 年度決算額 0千円 R5 年度予算額 0千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策5-4

障がい者の就業定着と就業機会の選択が広がるよう、事業者の理解促進に努めると共に就業支援の相談機能の充実を図ります。

事業1：障がい者就労支援団体ネットワーク事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者就労支援関係団体による情報共有のための会議を開催するとともに、障がい者の就労についての理解を深めるための研修会を開催する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ネットワーク会議の開催 ○市民を含めた研修会の開催 ○障がい者就労に関する情報の提供・共有



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議（2回）、研修会（1回）開催 → 参加人数：計106人 <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議（1回）開催 → 参加人数：計27人 <p>R3年度決算額 357千円 R4年度予算額 357千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議（4回）、研修会（1回）開催 → 参加人数：計128人 <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク会議（2回）開催 → 参加人数：計59人 <p>R4年度決算額 357千円 R5年度予算額 357千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 障がい者就労サポーター養成事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者雇用（予定）企業や就労継続支援サービス事業所の関係者、さらには市民等を対象として、障がい者就労サポーター養成講座を開催する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○障がい者就労サポーター養成講座の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義（5回）開催[令和4年2月] → 参加人数：計115人 <p>R3年度決算額 326千円 R4年度予算額 326千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義（5回）開催[令和4年8月実施] → 参加人数：計122人 <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義（5回）、見学会（2回）開催予定[令和5年8月] <p>R4年度決算額 326千円 R5年度予算額 326千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3：障がい者就業支援事業

事業内容	障がい者の就労を促進するため、障がい者の就労に関する関係機関との連携強化を図るとともに、障害者就労施設の利用に向けた相談支援を行う。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	○特別支援学校に通う障がい児の保護者への就労に関する説明及び相談支援 ○雇用促進セミナーにおける相談支援



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス説明会の開催及び相談支援の実施（令和4年5月） → 場所：青森県立八戸高等支援学校 参加人数：28名 <p>R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雇用促進セミナーにおける相談支援（令和4年10月） → 実施無し（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため規模を縮小して開催） <p>【令和5年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービス説明会の開催及び相談支援の実施（令和5年5月） → 場所：青森県立八戸高等支援学校 参加人数：32名 <p>R4 年度決算額 0千円 R5 年度予算額 0千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策5-5

多発する異常気象や、将来発生が予想される巨大地震とそれに伴う津波など、大規模災害から市民の生命と財産を守るため、防災・危機管理部門を強化します。

事業1： 防災・危機管理体制強化事業

事業内容	大規模災害から市民の生命と財産を守るため、庁内の防災・危機管理体制の強化を図る。
担当課	危機管理課、災害対策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○防災危機管理課の体制強化 ○体制強化に向けた検討・協議を行う



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策本部の事務局を防災危機管理課に移し、全庁横断的な危機管理体制を強化（令和4年2月から） ・防災危機管理課を2グループ体制に強化（令和4年4月） ・津波避難ハザードマップの改訂（令和4年4月） <p>R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理や災害対策を一元的に所管する「危機管理部」を新設し、新たな津波対策に関する計画策定のほか、新型コロナウイルス感染症対策等の危機管理に対する中枢機能の強化を担う「危機管理課」と、住民と共に地域の防災対策強化のための各種事業を担う「災害対策課」を新たに設置することにより、日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震及びそれに伴う大津波等の大規模災害や、激甚化・多発化している風水害等の自然災害時のほか、新型インフルエンザ感染症等の流行時などの危機的状況における司令塔機能を強化 ・津波避難計画の改定（令和4年11月） ・災害時初動体制マニュアルの改定（令和5年6月） <p>R4 年度決算額 0千円 R5 年度予算額 0千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

政策6 「子どもファースト事業」の展開

重点施策6-1

子ども医療費助成の対象拡充、子育て支援の充実、学校施設の老朽化対策など、子どもや子育て世代にやさしい子どもファーストの事業に取り組みます。

事業1：子ども医療費助成事業

事業内容	子どもの健康保持と福祉増進を図るため、八戸市に住所のある児童が診察を受けた場合の医療費の自己負担分を助成する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○就学前の乳幼児～中学生の通院・入院費用を助成 ○高校生等の入院費用を助成 ○未就学児世帯の所得制限を緩和(令和4年1月) ○未就学児から高校生等の入院までの全ての区分の所得制限を撤廃(令和6年1月予定)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・未就学児世帯の所得制限を緩和(令和4年1月) →新たに約2,700人が対象 ・対象範囲の更なる拡充に向け検討中(所要額及び対象人数増加の試算を実施) <p>R3年度決算額 364,349千円 R4年度予算額 483,817千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・所得制限撤廃のため、子ども医療費給付条例の改正を実施(令和5年3月) ・システム改修着手(令和5年5月) ・新規対象者約10,000人の認定申請受付(令和5年9月予定) <p>R4年度決算額 441,524千円 R5年度予算額 512,387千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 病児保育ネット予約サービスの導入（病児・病後児保育事業）

事業内容	スマートフォンなどを利用して病児・病後児保育の予約やキャンセルを行うためのシステムの普及のため、その導入費用について、病児・病後児保育事業実施施設に対し補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○ネット予約サービスを導入する病児・病後児保育施設に対し、システム導入費用と利用料を補助



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	【導入施設】 4月～ 南売市保育園、中居林こども園 5月～ 明星こども園 6月～ 滝沢小児科内科医院、村上こども医院 【補助基準額】 初期導入費用 300 千円 システム利用料 350 千円 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 3,250 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 市政情報発信力の強化事業

事業内容	子ども・子育て施策や市の重点施策を周知し理解を深めてもらうため、子育て世代をターゲットに広報はちのへ紙面をリニューアルする。
担当課	広報統計課
取組詳細	○広報はちのへ紙面の全面リニューアルを実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3 年度決算額 千円 R4 年度予算額 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもファースト事業や市の重点施策の特集記事連載開始 ・子ども・子育て情報を集約、親子で楽しめるイベント情報をピックアップ掲載 ・親子で読める記事（レシピ紹介、学校紹介）の連載開始 ・全ページフルカラー、表紙デザイン一新、横書き・左開きへ統一 ・令和5年5月号（4月20日発行）からリニューアルした広報はちのへを配布し、子ども・子育て施策、重点施策を市民に広く周知 R4 年度決算額 59,848 千円 R5 年度予算額 80,000 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業4：健康教育事業（母子）

事業内容	子育てや健康等に関する正しい知識の普及啓発を図るため、各種講座を実施する。
担当課	保健所 すくすく親子健康課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○初めて赤ちゃんを迎えるための心の準備・親の役割について学ぶための「両親学級」の実施 ○離乳食に関する知識を身に着けるための「すくすく離乳食教室」の実施 ○子どもの健康や子育てに関する普及啓発のための「地区健康教室」の実施 ※地区健康教室を「子育て出前講座」として広く周知し実施（令和5年度～）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・両親学級：4回、60組 ・すくすく離乳食教室：14回、72人 ・地区健康教室：6回、560人 R3年度決算額 226千円 R4年度予算額 280千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・両親学級：10回、203組 ・すくすく離乳食教室：28回、167人 ・地区健康教室：8回、828人 ・子育て出前講座：7回、170人 R4年度決算額 611千円 R5年度予算額 1,328千円
	3年目	—
	4年目	—

事業5：母子健康診査事業

事業内容	乳児期の検診等における自己負担を概ね解消し、さらなる健康管理を図るため、検診費用を助成する。
担当課	保健所 すくすく親子健康課
取組詳細	<p>乳児健康診査、先天性股関節脱臼検診、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査、精神発達精密健康診査、妊婦健康診査、妊婦歯科健康診査、産婦健康診査の検診費用を助成。</p> <p>乳児期の健診費用等を次のとおり拡充して助成（令和5年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○新生児聴覚検査費用を助成 ○乳児一般委託健康診査及び精密検診の公費負担を3回から4回へ追加 ○先天性股関節脱臼検診の保護者負担金を無償化

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児健康診査：受診者 2,714 人 ・先天性股関節脱臼検診：857 人 ・1歳6か月児健康診査：787 人 ・3歳児健康診査：907 人 ・精神発達精密健康診査：31 人 ・妊婦健康診査：899 人 ・妊婦歯科健康診査：467 人 ・産婦健康診査：912 人 <p>R3 年度決算額 190,563 千円 R4 年度予算額 228,625 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・新生児聴覚検査：助成者 131 人 ・乳児健康診査：受診者 2,759 人（6月末） ・先天性股関節脱臼検診：993 人（6月末） ・1歳6か月児健康診査：1,463 人 ・3歳児健康診査：1,656 人 ・精神発達精密健康診査：52 人 ・妊婦健康診査：1,090 人 ・妊婦歯科健康診査：582 人（6月末） ・産婦健康診査：1,069 人 <p>R4 年度決算額 199,932 千円 R5 年度予算額 244,861 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業6：子ども家庭総合支援拠点事業

事業内容	要支援児童若しくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦等への支援業務の強化を図るため、八戸市内の子どもとその家族及び妊婦等を対象に、その福祉に関し必要な支援に係る業務全般を行う。
担当課	こども家庭相談室
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭児童相談室の機能を包含した子ども家庭総合支援拠点(こども家庭相談室内)に、子ども家庭支援員、虐待対応専門員、心理担当支援員を配置し、子ども家庭に関する相談に応じ、必要に応じて関係機関等と連携しながら必要な支援を行う。 ・関係機関等との連絡調整については、必要に応じて要保護児童対策地域協議会を活用する。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置…子ども家庭支援員3名、虐待対応専門員2名、心理担当支援員1名 ・子ども家庭相談件数…(R4.7月末時点)96件 (R5.3月末時点)314件 ・要保護児童対策地域協議会…代表者会議(7/29 書面会議)、実務者会議(毎月1回開催、R5.3月末検討数555件)、ケース検討会議(R5.3月末検討数189件) <p>R3 年度決算額 5,905 千円 R4 年度予算額 7,441 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員配置…子ども家庭支援員4名、虐待対応専門員2名、心理担当支援員1名 ・子ども家庭相談件数…(R5.7月末時点)114件 ・要保護児童対策地域協議会…代表者会議(8/28 開催予定)、実務者会議(毎月1回開催、R5.7月末検討数242件)、ケース検討会議(R5.7月末検討数50件) ・子ども家庭総合支援拠点(児童福祉)と子育て世代包括支援センター(母子保健)の機能を有し一体的な支援体制を整備した「こども家庭センター」を令和6年4月に設置予定。 <p>R4 年度決算額 6,763 千円 R5 年度予算額 12,221 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業7：八戸市次世代エール商品券発行事業

事業内容	地域内の消費を喚起するとともに子育て世帯等への経済的支援を行うため、若年層を対象としたプレミアム商品券を発行する。
担当課	商工課
取組詳細	<p>○次世代エール商品券の発行</p> <p>商品券概要：1口15,000円分のデジタル商品券（スマートフォン向けアプリ又はQRカード）を10,000円で販売（購入対象者1人当たり1口限り購入可）。</p> <p>購入対象者：平成13年4月2日以降に生まれた方のうち、以下のいずれかに該当する方</p> <p>①令和5年4月1日時点で八戸市内に住所のある方</p> <p>②市外から市内の高等教育機関に通っている方</p> <p>※①には、9月上旬に実行委員会から引換チケットを発送。</p> <p>プレミアム率：50%</p> <p>発行総数：42,000口（参考：住基人口=37,403人（①分、7.15時点））</p> <p>発行総額：6億3,000万円（15,000円×42,000口）</p> <p>プレミアム総額：2億1,000万円（5,000円×42,000口）</p> <p>実施主体：八戸市次世代エール商品券実行委員会 （八戸市、八戸商工会議所、八戸商店街連盟で組織）</p>

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> 次世代エール商品券の発行 販売開始：R5.9月中頃 利用開始：同上 参加店の募集 募集期間：R5.7.18(火)~12.15(金) システム開発業務委託事業者の募集 募集期間：R5.4.12(水)~R5.5.9(火) 選定方式：プロポーザル 委託先事業者：ラブはちのへ地域ペイプロジェクト (代表企業：(株)トータルペイメントサービス) <p>R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 26,400千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業 8： 軽・中程度障がい児保育事業

事業内容	障がい児保育施設の維持、拡充を図るため、障がい児の受入体制を整えている認定こども園・保育所（園）について、障がい児保育を担当する職員の配置費用に対し、補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○軽・中程度障がい児受け入れの認定こども園・保育所（園）に対し、職員配置費用を補助



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	令和4年度より補助基準額の見直しを実施 <中程度障がい児保育事業> 月額 77,000 円（前年度比 5,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 <ふれあい保育事業> 月額 43,000 円（前年度比 3,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 R3 年度決算額 16,464 千円 R4 年度予算額 30,540 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	令和5年度より補助基準額の見直しを実施 <中程度障がい児保育事業> 月額 106,000 円（前年度比 29,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 <ふれあい保育事業> 月額 53,000 円（前年度比 10,000 円増）×各月初日現在の対象児童数×入所月数 R4 年度決算額 14,039 千円 R5 年度予算額 31,376 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業9：医療的ケア児等総合支援事業

事業内容	医療的ケア児とその家族を支援するため、保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設けるとともに、医療的ケア児等に関するコーディネーターを配置する。
担当課	障がい福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関が集まり、地域の現状把握や分析、連絡調整、支援内容等、地域全体の医療的ケア児等とその家族が直面する課題及びその検討を行う医療的ケア児支援検討会議を開催する。 ○保健・医療・障害福祉・保育・教育等の必要なサービスを総合的に調整し、医療的ケア児等とその家族に対しサービスを紹介するとともに、関係機関と医療的ケア児等とその家族をつなぐ医療的ケア児等コーディネーターを配置する。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児支援検討会議（令和4年2月） ※書面開催 <p>R3 年度決算額 290 千円 R4 年度予算額 147 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケア児支援検討会議（令和5年2月） 出席者：委員9名・オブザーバー3名 ・医療的ケア児等コーディネーター配置 コーディネーター配置事業の受託対応調査実施（対象：市内34事業所） <p>R4 年度決算額 147 千円 R5 年度予算額 5,258 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業10: 医療的ケア児保育支援事業

事業内容	医療的ケア児の保育所等への受入体制を整備するとともに、保育所に対して医療的ケア児を受け入れる支援として、看護師を配置する費用等について、補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○医療的ケア児を受け入れている認定こども園・保育所（園）に対し、看護師等配置費用研修受講費等を補助 ○医療的ケア児受け入れのためのガイドラインの策定



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	受入施設 2 園 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 15,209 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業11: 広域的体験学習支援事業

事業内容	八戸圏域連携中枢都市圏域内の小・中学生の体験学習を支援するため、小・中学生が体験活動を行う際の一部の経費を負担する。
担当課	教育指導課
取組詳細	○八戸圏域内の小学校が圏域内の公共施設等を活用した体験学習を行う際、バス借上料及び施設入場料を支援 ○八戸圏域内の中学校が圏域内で職業体験等の体験学習を行う際、バス借上料を支援



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>【令和3年度実績】</p> <p>○小学校 利用校数 53/70校 (76%)、延べ利用校数 90校 ・八戸市リサイクルプラザ、八戸中央卸売市場、八戸市博物館等を活用した体験活動を実施 ※中学校は対象外</p> <p>R3年度決算額 6,874千円 R4年度予算額 10,831千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>【令和4年度実績】</p> <p>○小学校 利用校数 62/69校 (90%)、延べ利用校数 116校 ・八戸市リサイクルプラザ、八戸中央卸売市場、八戸市博物館等を活用した体験活動を実施</p> <p>○中学校 利用校数 10/39 (26%) ・NPO法人・産業労政課事業を活用し、企業訪問・大学訪問を実施</p> <p>R4年度決算額 10,027千円 R5年度予算額 14,137千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業12: 地域密着型教育推進事業

事業内容	地域住民等と学校との連携・協働による「開かれた学校づくり」を行うため、「地域学校連携協議会」を設置するほか、郷土や地域に関する学習における学校支援ボランティアの活用を支援するため、各学校にコーディネーターを配置する。
担当課	教育指導課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○各学校または中学校区における「地域学校連携協議会」の開催及び「学校支援ボランティア」の活用 ○安全・安心な学校・地域づくり ○地域と連携したキャリア教育の推進 ○コーディネーター研修会の実施と好事例の共有 ○コミュニティ・スクール導入に向けた準備



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校連携協議会 各学校または中学校区において1～3回開催 ・学校支援ボランティア 総数 38,688人 ・コーディネーター研修会 2回実施 <p>※コロナ禍で多くの活動・会議等が中止</p> <p>R3年度決算額 9,480千円 R4年度予算額 11,079千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>【令和4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域学校連携協議会 各学校または中学校区において2～3回開催 ・学校支援ボランティア 総数 38,229人 ・コーディネーター研修会 5回実施 ・中学校の企業訪問開始 <p>R4年度決算額 10,692千円 R5年度予算額 11,083千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業13: 文化芸術推進事業

事業内容	文化芸術に触れあう機会創出を推進するため、小・中学生等を対象に芸術文化に関連した企画事業を開催するほか、本を読む、書くことに関する企画事業を開催する。
担当課	文化創造推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学生を対象に、芸術文化に関連したワークショップ等を開催（文化創造推進課） ○市公会堂において、小・中学生を対象としたバックヤード見学ツアーや体験プログラムを開催（文化創造推進課） ○本を読む、書くことに関する企画事業を開催（八戸ブックセンター） ○小中高の教員と美術館学芸員、専門家でプロジェクトチームを構成し、学校現場で活用しやすいプログラムや教材の開発・実践・発表を行うなどの教育普及活動の実施（八戸市美術館） ○全国から公募で決定したアーティストがはっちで舞台芸術公演を実施するのに合わせ、小・中学生等を対象としたワークショップを行い、市民がパフォーマンスアーツに触れ、体験する機会を創出（八戸ポータルミュージアム）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の演劇ワークショップとしてうみねこ演劇塾（ジュニア塾）「うみねこ演劇塾発表会」を開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造期間：R3.10.9～R4.1.6（最終日は発表会） 場所：八戸市公民館 参加者：延べ204人 ・「公会堂探検隊2021」の開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造 開催日：R3.8.9 場所：八戸市公会堂 参加者：24人（子ども14人、大人10人） ・はっちパフォーマンスアーツ公演事業ワークショップの実施 ※はっち <ul style="list-style-type: none"> ○劇団「鳥と舟」 期日：R4.6.22 場所：八戸聖ウルスラ学院 参加者：10名（同校演劇部） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 10千円（はっち10）</p>

2年目
(R5.7月
末時点)

- ・市民参加型の演劇ワークショップとしてうみねこ演劇塾（ジュニア塾）「うみねこ演劇塾発表会」を開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造
期間：R4.10.8～R5.1.6（最終日は発表会）
場所：八戸市公民館
参加者：延べ231人
 - ・「公会堂探検隊2022」の開催（公会堂・公民館指定管理者による自主事業）※文化創造
開催日：R4.8.9
場所：八戸市公会堂
参加者：33人（子ども18人、大人15人）
 - ・執筆に関するワークショップの開催 ※ブックセンター
開催日：R5.3.25～26（2日間の連続講座）
場 所：番町サテライトキャンパスばんらぼ
講 師：田丸雅智氏（ショートショート作家）
参加者：市内高校生23名
 - ・「まるごと馬場のぼる展」において「小中高合同鑑賞会」を実施 ※美術館
開催日：R4.8.10
場所：八戸市美術館
参加者20人
 - ・小中学生、高校生が所属する「美術館新聞部」による「とれたて！すまあ〜と！」発行
開催日：R4.11.3～R5.3.31
場所：八戸市美術館
参加者：16人
 - ・はっちパフォーミングアーツ公演事業ワークショップの実施 ※はっち
 - ダンスカンパニー「デペイズマン」
 - (1) 期日：R4.8.29
場所：下長小学校
参加者：60名（同校5年生）
 - (2) 期日：R4.8.30
場所：豊崎中学校
参加者：24名（中学生18名、豊崎小学校6年生5名、オンライン2名）
 - ダンス・アートカンパニー「tantan」
期日：R4.12.9
場所：八戸ポータルミュージアム（シアター2）
参加者：5名
 - ダンス集団「TABATHA」
期日：R5.2.27
場所：明治中学校
参加者：54名
 - 劇団「いるかHotel」
期日：R5.6.6～7
場所：八戸東高校
参加者：33名（東高校演劇部 27名、千葉学園高校演劇部 6名）
- R4年度決算額 210千円（ブックセンター 200、はっち 10）
R5年度予算額 50千円（はっち 50）

	3年目	—
	4年目	—

事業14: 小・中学校スポーツ・文化的活動支援事業

事業内容	市立小・中学校におけるスポーツ・文化的活動の指導体制の充実及び質的向上を図るほか、中学校部活動の円滑な地域移行に向けた調査及び検討を行うため、地域スポーツ・文化活動検討協議会を設置・運営する。
担当課	学校教育課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市立小・中学校スポーツ・文化的活動外部指導者の保険料負担 ○「八戸市 小学校スポーツ活動 中学校運動部活動 指針」の周知 ○市立中学校への部活動指導員配置 ○外部指導者等研修会の開催 ○附属機関「八戸市地域スポーツ・文化活動検討協議会」の設置・運営



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○外部指導者 517名(小学校 375名、中学校 142名)の保険料を負担(R4年度) ○指針概要版のリーフレットを約4,500部配布 ○部活動指導員を市立中学校8校に各1名配置 ○外部指導者等研修会は感染拡大防止のため急遽中止 <p>R3年度決算額 3,416千円 R4年度予算額 4,396千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○外部指導者 530名(小学校 365名、中学校 165名)の保険料を負担(R5.7.19現在) ○市HPを活用した指針の周知(アドレス及びQRコードの周知) ○部活動指導員を市立中学校9校に計10名配置 ○外部指導者等研修会の開催(R5.8.7)準備 ○地域スポーツ・文化活動検討協議会を設置(R5.4.1)、第1回検討協議会を開催(R5.7.4) <p>R4年度決算額 3,527千円 R5年度予算額 6,278千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業15: 学校図書館支援事業

事業内容	学校図書館の活用と環境整備を促進するため、小・中学校に学校司書を派遣する。
担当課	教育指導課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校に、学校図書館環境整備、新刊図書登録業務等を行う学校司書を派遣 ○学校司書研修会の実施 ○学校司書出張講座・出張ブックトークの実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>【令和3年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校司書8名を小・中学校に派遣（派遣校数：40校） ○学校司書研修会の開催（11回） ○ブックトークの実施（102単位時間） <p>R3年度決算額 7,532千円 R4年度予算額 9,680千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>【令和4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校司書10名を小・中学校に派遣（派遣校数：58校） ○学校司書研修会の開催（12回） ○ブックトークの実施（164単位時間） <p>R4年度決算額 9,569千円 R5年度予算額 12,889千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業16： 児童科学館改修事業

事業内容	利便性及び快適性向上のために、空調設備を整備するとともに、トイレを全面改修する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○空調設備整備工事（令和5年11月～令和6年7月） ○空調設備改修工事（令和5年11月～令和6年7月） ○トイレ改修工事（令和6年1月～5月）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・空調設備整備工事の設計（令和5年11月より工事開始） ・空調設備改修工事の設計（令和5年11月より工事開始） ・トイレ改修工事の設計（令和6年1月より工事開始） R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 224,000千円
	3年目	—
	4年目	—

事業17: 放課後児童健全育成事業

事業内容	放課後等における児童の居場所の提供体制を安定的に確保するため、放課後児童クラブの運営や新規開設・移転に係る各種支援を行うほか、支援員の定着や新たな人材の確保を図るため、支援員の処遇改善を実施する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	○クラブの開設等に係る支援や調整を実施 ○支援員の処遇改善 ○各クラブにおける新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底し、運営を継続



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・R4.4月から1クラブ増設（市内48クラブ） ・R4.2月から放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業により、支援員等の賃金引上げ分の補助を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策支援事業により、消毒液や感染防止に係る備品代の補助を実施 <p>R3 年度決算額 278,881 千円 R4 年度予算額 304,469 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・R5.4月から1クラブ増設（市内49クラブ） ・放課後児童支援員等処遇改善臨時特例事業及び子ども子育て支援交付金の活用により、支援員等の賃金引上げ分の補助を実施 ・新型コロナウイルス感染症対策支援事業により、消毒液や感染防止に係る備品代の補助を実施 <p>R4 年度決算額 301,021 千円 R5 年度予算額 325,725 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業18: 送迎用車両安全装置導入支援事業

事業内容	保育所、障害児通所支援事業所、認定こども園等に通う子どもの送迎用バス等への置き去り防止のため、安全装置の装備に必要な経費に対して、補助金を交付する。
担当課	こども未来課、障がい福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、障害児通所支援事業所、認定こども園等に通う子どもの送迎用バス等への置き去り防止のため、安全装置の装備にかかる費用について、その一部又は全部を補助する。 ・安全装置の装備義務がある送迎用バスを運行している又は運行する予定のある施設及び送迎用バスの台数を調査し把握する。 ・補助要綱を作成、事業者に周知し、交付申請を受け付ける。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>(こども未来課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎用バス等の台数を調査実施。(令和5年4月) ・対象事業者に対して早期に取り付けるよう通知。(令和5年4月、5月) ・対象施設: 7施設 ・対象車両: 18台(令和5年8月以降補助手続き予定) <p>(障がい福祉課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国の交付要綱が示されていないため、補助金は交付していないが、対象事業所に対して早期に取り付けるよう通知(令和5年6月) <p>対象: 児童発達支援事業所 7事業所(見込) 放課後等デイサービス事業所 27事業所(見込)</p> <p>R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 21,200 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業19: 小・中学校整備事業

事業内容	児童・生徒等が安全・安心に過ごせる教育環境を整備するため、学校施設の経年劣化箇所の修繕及び利便性向上のための営繕を行う。
担当課	教育総務課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の施設・設備の補修等整備 ○小中学校への冷房設備の設置 ○小中学校防音機能復旧事業（空調設備工事）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の施設・設備の補修等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・八戸小学校屋内運動場床改修工事（令和4年6月契約）※完了検査済 ・函南小学校防球・防砂ネット改修工事（令和4年7月契約）※完了検査済 ○小中学校への冷房設備の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校18校空調設備（冷房）設置工事（令和4年4月契約）※完了検査済 <p>R3年度決算額 1,109,201千円 R4年度予算額 1,065,320千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の施設・設備の補修等整備 <ul style="list-style-type: none"> ・根城中学校特別教室棟屋上防水改修工事（令和4年9月契約）※完了検査済 ・市立白銀小学校校庭フェンス改修工事（令和5年6月契約） ・市立多賀台小学校校舎屋上防水工事（令和5年7月契約） ・市立桔梗野小学校土留め改修工事（令和5年7月契約） ・市立城下小学校校庭改修工事測量設計業務委託（令和5年9月契約予定） ・市立小中野小学校特別教室棟給水設備改修工事（令和5年10月契約予定） ・市立大館中学校屋内運動場カーテンレール改修工事（令和5年7月契約） ・市立市川中学校浄化槽設置工事（令和5年8月契約予定） ・市立白銀中学校校門側溝築造等工事（令和5年8月契約予定） <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校への冷房設備の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・小中学校19校空調設備（冷房）設置工事（令和5年4月契約） ○小中学校防音機能復旧事業（空調設備工事） <ul style="list-style-type: none"> ・下長小学校防音機能復旧事業（空調設備工事）（令和4年10月契約） <p>R4年度決算額 875,419千円 R5年度予算額 1,358,158千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業20： 保育施設等整備事業

事業内容	児童の安全な保育環境の確保、良質かつ効果的な教育及び保育の実施のため、就学前教育・保育施設の整備等に要する費用に対し、補助金を交付する。
担当課	こども未来課
取組詳細	○八戸市保育所等整備計画（計画期間：平成30年度～令和9年度）に基づき、老朽化している市内の保育所等の整備などを行う事業者へ経費を補助。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	整備事業完了 1施設（令和3年度からの繰越事業） R3年度決算額 177,845千円 R4年度予算額 502,308千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	整備事業完了 1施設（令和4年度からの繰越事業） 整備中 3施設（令和4年度からの繰越事業1施設、当該年度事業2施設） R4年度決算額 334,605千円 R5年度予算額 475,453千円
	3年目	—
	4年目	—

事業21: こどもの国大型複合遊具設置事業

事業内容	こどもの国において、子どもの多様なニーズに対応するため、年齢や障がいの有無に関わらず、すべての子どもが楽しく遊ぶことができるインクルーシブの考えを取り入れた大型複合遊具のある遊び場を整備する。
担当課	公園緑地課
取組詳細	<p>○大型複合遊具がある遊び場の整備（令和8年度全面供用開始予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インクルーシブゾーン」の整備 インクルーシブの考えを取り入れた遊具を配置した遊び場の整備 ・「アクティブゾーン」の整備 <p>怖そうだけど挑戦してみたいという子どもたちの好奇心をくすぐるような、よりアクティブな遊具を配置した遊び場の整備</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会建設協議会にて事業説明（令和4年5月） ・子どもファースト会議にて事業説明（令和4年6月） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 67,450千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・工事の実施（令和5年3月一部完了） 「インクルーシブゾーン」の一部：大型複合遊具、樹木移植、造成、ゴムチップ舗装 「アクティブゾーン」の一部：大型複合遊具、ベンチ ・部分供用開始（令和5年4月1日）※令和4年度整備済箇所 ・工事発注（令和5年6月）～工事完了予定（令和6年3月） 「インクルーシブゾーン」の一部：遊具（ブランコ、オムニスピナー）、ゴムチップ舗装 「アクティブゾーン」の一部：大型複合遊具 <p>R4年度決算額 68,882千円 R5年度予算額 60,050千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 6-2

幼児保育の重要性の認識や職場環境の改善を図り、人材の確保に努めると共に、幼児教育の質の向上に向けた研修体制や小学校との円滑な接続を図るカリキュラムを構築します。

事業 1： 保育士資格等取得支援事業

事業内容	保育人材の確保を図るため、保育士資格等の取得に要した費用の一部助成を行う。
担当課	こども未来課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○保育士資格を取得するために要した受講料等の一部補助を実施 ○幼稚園教諭免許状を取得・更新するために要した受講料等の一部補助を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>○令和3年度幼稚園教諭免許状取得支援事業補助金 対象施設 2施設 人数 4名</p> <p>R3年度決算額 63千円 R4年度予算額 2,285千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>集計期間において実績なし。</p> <p>R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 1,290千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 保育士修学資金貸付金事業

事業内容	保育人材の確保を図るため、保育士養成施設に在学しており、将来市内の保育所等で保育士として従事しようとする者に対し、奨学金を貸与する。
担当課	こども未来課
取組詳細	<p>○市内の保育所等に保育士として勤務する医師のある方を対象に奨学金を貸与(月額4万円)。</p> <p>○卒業後1年以内に市内の保育所等に保育士として就学し、引き続き5年以上勤務した場合には、返還免除。</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>貸付者数 4人(R3) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:7人) →従事者数 1人(R3) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:6人) ※()内は貸付年度 ※R3年度3人はR4年度卒業予定</p> <p>R3年度決算額 4,320千円 R4年度予算額 5,280千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>貸付者数 5人(R4) (参考 H30:5人、R元:5人、R2:7人、R3:4人) →従事者数 1人(R4) (参考 H30:5人、R元:4人、R2:6人、R3:3人) ※()内は貸付年度 ※R4年度4人はR5年度卒業予定</p> <p>R4年度決算額 3,840千円 R5年度予算額 5,760千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 幼保小連携推進事業

事業内容	幼保小の連携により、入学時における園児・保護者の不安解消と円滑な接続を図るため、保護者向けパンフレットの配布やオープンスクール、関係機関の各代表による代表者会議等を開催する。
担当課	教育指導課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の各代表、保護者、八戸学院大学短期大学部教授・幼児教育アドバイザーによる代表者会議の実施 ○入学予定幼児の保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布 ○幼保小連携研修講座の開催 ○小学校区を中心とした地区会の開催 ○オープンスクールの開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校へオープンスクール対応可能教育活動等のアンケート実施（令和4年5月） ・令和4年度第1回代表者会議の開催（令和4年5月） ・入学予定時の保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布（令和4年6月） ・幼児教育施設及び小学校へ幼保小連携研修講座のお知らせと参加受付（令和4年7月） <p>R3 年度決算額 131 千円 R4 年度予算額 125 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携研修講座のオンライン開催（令和4年9月） ・幼保小連携推進事業に係るアンケート調査の実施及び結果報告（調査：令和4年12月、報告：令和5年3月） ・令和4年度第2回代表者会議の開催（令和5年2月） ・小学校へオープンスクール対応可能教育活動等のアンケート実施（令和5年4月） ・令和5年度第1回代表者会議の開催（令和5年5月） ・幼児教育施設へオープンスクール各学校行事等一覧の配布（令和5年5月） ・幼保小連携担当者連絡協議会の開催（令和5年5月） ・入学予定時の保護者向けパンフレット「わくわくいっぱい いちねんせい」の配布（令和5年6月） ・幼児教育施設及び小学校へ幼保小連携研修講座のお知らせと参加受付（令和5年7月） <p>R4 年度決算額 120 千円 R5 年度予算額 127 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業4：特別支援教育推進事業

事業内容	一人一人の教育的ニーズに応じた適切な支援の充実を図るため、小学校・中学校・園への巡回相談や支援体制づくり、保護者・関係機関等の連携に関わる指導助言を行う。
担当課	こども支援センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○巡回相談の実施 ○保護者・本人・教職員等を支援する教育相談の実施 ○未就学児の発達についての相談・指導の実施 ○学び方支援「ビジョン・トレーニング」や就学に向けた適応支援「リトル」の実施 ○小学校就学に向けた切れ目のない相談体制の整備 ○幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言 ○教育支援委員会の開催・運営 ○専門指導員の増員 ○特別支援教育アドバイザーによる障がい等についての見立てや特別支援学校への接続に関する相談の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・園、小・中学校への巡回相談の実施 370件 (R3.12月～) ・保護者・本人・教職員等を支援する教育相談等の実施 (未就学児を含む全相談件数) 4,391件 (R3.12月～) ・学び方支援「ビジョン・トレーニング」 10回延べ55名参加 (R3.12月～) ・就学に向けた適応支援「リトル」の実施 8回延べ51名参加 (R3.12月～) ・すすく親子健康課と連携し、小学校就学に向けた切れ目のない相談体制を検討 ・幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言の実施 ・教育支援委員会の開催・運営 6回実施 (R3.12月～) ・令和4年度より特別支援教育アドバイザーを配置、及び専門指導員2名を増員 <p>R3年度決算額 49,450千円 R4年度予算額 55,124千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・園、小・中学校への巡回相談の実施 515件 (R5.6月末時点) ・保護者・本人・教職員等を支援する教育相談等の実施 (未就学児を含む全相談件数) 7,515件 (R5.6月末時点) ・学び方支援「ビジョン・トレーニング」 13回延べ80名参加 (R5.6月末時点) ・就学に向けた適応支援「リトル」の実施 14回延べ67名参加 (R5.6月末時点) ・すすく親子健康課と連携し、小学校就学に向けた切れ目のない相談体制を検討 ・幼児教育アドバイザーによる支援体制への助言の実施 ・教育支援委員会の開催・運営 5回実施 (R5.6月末時点) <p>R4年度決算額 54,185千円 R5年度予算額 57,171千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業5：教職員研修事業

事業内容	教職員の資質能力の向上を図るため、教育公務員特例法に基づく研修を行うとともに、一般市民を対象として、教育課題の解決や教養を高めるための研修を行う。
担当課	総合教育センター
取組詳細	○研修講座の実施 ※研修講座の一部は、幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も受講対象に設定



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・29講座を開催 → 受講者数：延べ1,124人（令和4年度） ・幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も対象とした講座は、3講座開催 → 受講者数 3人（令和4年度） <p>R3年度決算額 10,256千円 R4年度予算額 15,745千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・56講座を開催 → 受講者数：延べ1937人 ・幼稚園・保育所（園）・認定こども園教職員も対象とした講座は、3講座開催 → 受講者数 22人（令和5年度） <p>R4年度決算額 15,745千円 R5年度予算額 16,734千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策6-3

学校のプログラミング教育や国際交流事業のさらなる充実を図り、未来の八戸を担う子どもたちの学びを支えます。

事業1：GIGAスクール構想推進事業

事業内容	児童生徒の情報活用能力の育成及び教員のICT活用指導力の向上を図るため、1人1台端末の計画的な整備と円滑な運用を推進する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○GIGAスクール運営支援センターの整備(令和4年5月31日整備完了) ○指導者用コンピュータの整備(令和5年3月31日整備完了) ○学習eポータル整備(令和5年3月31日整備完了) ○GIGAスクールサポーターの配置支援(国庫補助事業廃止により令和5年3月31日配置終了) ○デジタルドリル教材の利活用(継続中) ○職員研修のサポート(継続中) ○児童生徒子ども見守りシステムの整備(令和6年度整備予定)



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・指導者用コンピュータ整備(722台)(令和4年度) ・デジタルドリル教材を全小・中学校に整備 整備率100%(令和4年度) ・GIGAスクールサポーター(3名)による学校支援 述べ282校(令和4年度) ・職員研修のサポートは継続的に実施 研修回数20回(令和4年度) ・GIGAスクール運営支援センター開設。各学校からの全ての情報機器に関する問合せをコンタクトセンターへ一本化した。(令和4年度) <p>R3年度決算額 46,910千円 R4年度予算額 90,904千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール運営支援センターの運営(問合せ件数429件) ・デジタルドリル教材の利用継続(全小・中学校) ・指導者用コンピュータ追加整備(60台) ・学習eポータルによるMEXCBTを利用した全国学力・学習状況調査実施(全中学校) ・学校訪問による教職員への研修において、プログラミング教育等を充実させるための指導・助言を実施(訪問回数22回)。指導・助言の効果については計画訪問等の授業参観にて確認しており、端末導入当初に比べ、プログラミング的思考を働かせるような学習内容が見られている。 <p>R4年度決算額 90,904千円 R5年度予算額 35,434千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：青少年海外派遣交流事業

事業内容	次代を担う子どもたちの国際的な視野の拡大と国際意識の向上を図るため、八戸市内の中学生の海外派遣や、海外の児童生徒を受け入れ、市長表敬訪問、学校訪問、市内見学等を行う。
担当課	教育指導課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○派遣事業 <ul style="list-style-type: none"> ・中国（上海、蘭州、西安、北京）に派遣（8泊9日） ○受入事業 <ul style="list-style-type: none"> ・蘭州市青少年友好交流団来八（ホームステイ、中学校訪問、歓迎会、市長表敬訪問） ・米国ポートランドインターナショナルスクール児童の受入れ（ホームステイ、小学校訪問）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の影響により派遣事業中止 ○米国ポートランドインターナショナルスクールとのオンライン交流 (令和3年12月9日、令和4年3月9日) <p>R3 年度決算額 50 千円 R4 年度予算額 172 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○新型コロナウイルス感染症の影響により派遣事業中止 ○米国ポートランドインターナショナルスクール受入に向け、準備・調整中 <p>R4 年度決算額 84 千円 R5 年度予算額 171 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3：国際理解教育・英語教育推進事業

事業内容	国際理解教育・英語教育の推進を図るため、ALT（外国語指導助手）が、小・中学校における外国語の授業や国際理解教育にかかる授業等を補助する。
担当課	総合教育センター
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ALTによる授業の補助の実施 ○直接任用ALTの増員



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・JETプログラム※ALT15名（8月末で18名の予定）、市直接任用ALT2名 ・一人のALTが同一中学校区の小・中学校を担当することにより、継続的な指導が可能となり、英語教育の充実を図ることができた。（令和4年度） ・一校当たり平均訪問回数 小学校17日、中学校36日（令和4年度） ・ALT一人当たり平均授業時間数 小学校129時間、中学校71時間（令和4年度） <p>※JETプログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業</p> <p>R3年度決算額 95,811千円 R4年度予算額 111,176千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・JETプログラム※ALT18名（8月末で20名の予定）、市直接任用ALT2名 ・一人のALTが同一中学校区の小・中学校を担当することにより、継続的な指導が可能となり、英語教育の充実を図ることができた。（令和5年度） ・一校当たり平均訪問回数 小学校18日、中学校37日（令和5年度） ・ALT一人当たり平均授業時間数 小学校139時間、中学校78時間（令和5年度） <p>※JETプログラム…語学指導等を行う外国青年招致事業</p> <p>R4年度決算額 105,270千円 R5年度予算額 117,183千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 6-4

食品関連事業者や関係団体などとの連携の下に、子ども食堂の支援に努めます。

事業 1：子ども食堂支援事業

事業内容	子ども食堂実施団体の連携を強め、地域全体で子どもの見守りを強化するため、広報支援を行うとともに、食材提供者と子ども食堂実施団体のマッチングについて検討する。
担当課	子育て支援課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○食材提供者と子ども食堂実施事業者のマッチングに向けた関係団体との協議 食品提供者と実施団体とのマッチングを課内で実施 ○「子ども食堂」及び「八戸こども宅食おすそわけ便」の広報支援 ○子ども食堂等の物価高騰対策支援の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングに向け、関係団体との協議を実施（2団体） ・「八戸こども宅食おすそわけ便」の広報支援（チラシ配布） ・食材提供者への子ども食堂実施団体の情報提供 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・食品提供者と実施団体とのマッチングを課内で実施 ・子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便実施団体への後援（令和5年度～） 対象：13 団体 効果：地区公民館の使用料減免や公共施設へのチラシ配架が可能 など ・子ども食堂等物価高騰対策特別支援金給付事業の実施（令和5年7月開始） 対象：子ども食堂及び八戸こども宅食おすそわけ便実施団体 1 団体当たり 6 万円 ・子ども食堂実施団体に係るアンケート調査の実施（令和5年7月発送） ・今後アンケート結果を踏まえ、広報支援の強化や実施団体のニーズにあった支援を検討 <p>R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 1,200 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

政策7 多様な市民力を地域の活力に

重点施策7-1

高校・大学卒業を機に転出した若者・女性に向けた「ふるさとメール便」・「ふるさと情報アプリ」の導入やリモートワーカー等の積極的な受け入れにより、若者・女性の移住促進に取り組めます。

事業1： 移住・交流促進事業

事業内容	首都圏等からの移住や人材の還流を図るため、移住相談窓口事業の実施や移住相談会への参加、移住ポータルサイトの運営を行う。
担当課	広報統計課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○移住促進パンフレットの作成・配布 ○移住・交流ポータルサイトの運営 ○移住相談窓口の運営 ○移住相談会への参加 ○リモートワーカー等の受け入れに関する情報発信（令和4年度から） <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット広告の活用、移住促進動画の制作



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市移住 PR パンフレットを作成・配布 (R4.1.27) →配布先：青森暮らしサポートセンター、8base、東京事務所、イベント・相談時に配布 ・東北U・Iターン大相談会参加 (R4.1.9 相談者数：14人) ・八戸都市圏移住セミナー開催 (R4.3.6 相談者数：1人) ・東北移住&つながり大相談会参加 (R4.7.24 相談者数：6人) ・インターネット広告開始 (R4.7.19～) ・八戸市移住促進 PR 動画作成 (R4.7.29) ・八戸都市圏移住 Instagram の活用 ・PR イベント配布ノベルティ作成 (トートバック 600枚) <p>R3 年度決算額 3,757 千円 R4 年度予算額 8,000 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・デーリー東北リクルートラウンジへの出展 (R4.9.17 相談者数：2人) ・ふるさと回帰フェアへの出展 (R4.9.25 相談者数：10人) ・青森県UIターン・交流フェアへの出展 (R4.10.30 相談者数：28人) ・青森県冬の暮らしセミナーへの出展 (R5.1.29 相談者数：4人) ・八戸都市圏移住セミナー開催 (R5.3.5 相談者数：5人) ・八戸市移住相談デスクへの出展 (R5.3.25 相談者数：4人) ・八戸市移住 PR パンフレットを改訂 (R5.7.28) ※配布は8月以降 ・東北移住&つながり大相談会 2023 への出展 (R5.7.23 相談者数：9人) ・八戸都市圏移住 Instagram の活用 (フォロワー数 1,044人) ・PR イベント配布ノベルティ作成 (トートバック 600枚) <p>R4 年度決算額 7,169 千円 R5 年度予算額 7,010 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：シティプロモーション推進事業

事業内容	定住人口及び交流人口の維持拡大のため、八戸市公式SNSの活用を中心に、当市の魅力を市内外に発信する。
担当課	広報統計課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○会計年度任用職員（シティプロモーション事務員、映像クリエイター）の配置 ○八戸市公式 SNS の運用 ○小学生スポーツのライブ配信 ○八戸都市圏ファンクラブの運営・情報発信 ○八戸都市圏ファンクラブイベントの開催 ○高校、大学、専門学校の卒業生に対する市公式 SNS 登録の促進、発信内容の充実 ○八戸市出身者・関係者へのメール配信と市公式 SNS の情報発信の連動



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーション事務員、映像クリエイターを配置（各1名） ・八戸市公式 SNS 投稿数 Twitter 1,197件、Facebook 462件、LINE 446件、YouTube 62件 ・小学生スポーツ大会ライブ配信実績 アイスホッケー（令和3年11月28日）、サッカー（令和4年5月14日） ・八戸都市圏ファンクラブ「スクラム8」（ふるさと情報アプリ）の情報発信 LINE 28件、LINE 登録者数 2,949人、ファンクラブ通信記事 4本 ・卒業生用ポストカード配布 3,985枚 ・八戸市出身者・関係者へのメール（ふるさとメール便） 配信1回、登録者数 約1,600人 <p>R3 年度決算額 10,220 千円 R4 年度予算額 12,006 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・シティプロモーション事務員、映像クリエイターを配置（各1名） ・八戸市公式 SNS 投稿数 Twitter 1,468件、Facebook 679件、LINE 628件、YouTube 67件 ・小学生スポーツ大会ライブ配信実績 アイスホッケー（令和4年11月13日）、サッカー（令和5年5月13日） ・八戸都市圏ファンクラブ「スクラム8」（ふるさと情報アプリ）の情報発信 LINE 47件、LINE 登録者数 3,441人、ファンクラブ通信記事 5本 ・卒業生用ポストカード配布 3,820枚 ・八戸市出身者・関係者へのメール（ふるさとメール便） 配信9回、登録者数 約1,600人 <p>R4 年度決算額 9,248 千円 R5 年度予算額 11,150 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-2

産業界と教育界の連携を図り教員、生徒、保護者を対象とした地域における産業教育の充実により、大学生や高校生の地元定着を図ります。

事業1：八戸産学官連携推進事業

事業内容	若者の地元定着を図るため、八戸産学官連携推進会議を設置し、産学官の各機関が地域の現状や課題を共有し、地域の持続的発展や活性化に向けて取り組む。
担当課	政策推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市内高等教育機関・八戸商工会議所・八戸市が連携するプラットフォームの運営に参画 ○「八戸産学官連携推進会議」を開催し、「産学官連携による八戸未来創造中長期計画」に掲げる取組の推進や進行管理指標の進捗確認の実施 ○各校共通の講義として、「八戸地域学」を開講（令和4年度から）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○八戸産学官連携推進事務局会議の開催（7/19、9/21、11/11、1/13） ○八戸産学官連携推進会議の開催（10/7、2/3） ○八戸地域学 <table style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 0 5px;">10/24：八戸市 熊谷市長</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 5px;">11/22：八戸工業大学 坂本学長</td> </tr> <tr> <td style="padding: 0 5px;">12/15：八戸商工会議所 塚原副会頭</td> </tr> </table> <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>	10/24：八戸市 熊谷市長	11/22：八戸工業大学 坂本学長	12/15：八戸商工会議所 塚原副会頭
	10/24：八戸市 熊谷市長				
	11/22：八戸工業大学 坂本学長				
	12/15：八戸商工会議所 塚原副会頭				
2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○産学官連携推進事務局会議の開催（令和5年7月24日） （今後の予定） <ul style="list-style-type: none"> ・産学官連携推進事務局会議（9月、1月） ・産学官連携推進会議（10月、2月） ・八戸地域学（10月～12月の間に、3回実施予定）※講師は調整中 <p>R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円</p>				
3年目	—				
4年目	—				

事業2： 地元企業ファンづくりプロジェクト事業

事業内容	地元企業への理解を高め、若手人材の地元定着を図るため、企業と協力し、小学生から大学生を対象として地元企業を学ぶ機会を創出する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○協力企業をまとめた冊子の作成、学校への配布 ○出前講座・視察見学の斡旋・マッチング



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業をまとめた冊子の作成、配布（令和4年6月）…作成28社、配付84校 ・出前講座、視察見学の斡旋・マッチング…9校 <p>R3年度決算額 37千円 R4年度予算額 275千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・協力企業をまとめた冊子の作成、配布（令和5年5月）…作成29社、配付83校 ・出前講座、視察見学の斡旋・マッチング…3校 <p>R4年度決算額 52千円 R5年度予算額 382千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 高校生による地元企業魅力発見体験事業

事業内容	地元企業の魅力などについて情報発信するため、高校生が地域産業や地元企業の魅力について調査を行ったものを取りまとめ、学校関係者等を対象とした成果発表会を開催する。
担当課	産業労政課
取組詳細	市内高等学校生徒による地元企業等の魅力調査及び成果発表会の実施 《参加者》市内高等学校に通学する生徒 5グループ程度（1グループ3～4人） 《調査対象》市内に事業所を構えている企業 15社程度



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月末時点)	《参加者》市内高等学校に通学する生徒 6グループ（20人） 《調査対象》市内に事業所を構えている企業 16社 《実施内容》 7/24 事前勉強会実施（生徒のみ参加） 7/25 キックオフミーティング実施（生徒・企業参加） R4年度決算額 千円 R5年度予算額 3,000千円
	3年目	—
	4年目	—

事業4： 地域事業所人材獲得等支援事業

事業内容	八戸圏域内事業所の県内外への情報発信等の強化により、事業所の認知度や採用力の向上を図るため、各種事業を実施する。
担当課	産業労政課
取組詳細	<p>圏域事業所の県内外への情報発信等の強化により、事業所の認知度や採用力を向上のため、各種支援事業を実施する。</p> <p>○地元企業人材確保支援事業（採用力向上セミナー及びアドバイザー派遣）</p> <p>○デーリー東北新聞「保護者向けセミナー採録記事」広告掲載</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>○地元企業人材確保支援事業</p> <p>圏域内企業を対象とし、ポストコロナにおける働き方の多様化を踏まえた人材確保や多様で柔軟な働き方の環境整備に関するセミナーの開催及び個別相談の実施を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー 令和4年10月24日（月）参加：11社13人 令和4年11月28日（月）参加：7社10人 ・個別相談 セミナー参加企業を対象に実施 参加：5社 <p>○デーリー東北新聞「保護者向けセミナー採録記事」広告掲載</p> <p>デーリー東北新聞社、八戸商工会議所と連携し、子どものUターン就職を希望する保護者向けセミナーを開催し、採録記事によるUターン就職支援の幅広い情報発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デーリー東北新聞 令和4年8月30日記事広告掲載 (令和4年8月6日開催「保護者のためのUターンセミナー」の内容を掲載) <p>R3 年度決算額 2,132 千円 R4 年度予算額 4,112 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>○地元企業人材確保支援事業</p> <p>圏域内企業を対象とし、情報発信力の強化や採用力の向上等に関するセミナーの開催及び個別相談の実施を実施予定。（準備中）</p> <p>○デーリー東北新聞「保護者向けセミナー採録記事」広告掲載</p> <p>デーリー東北新聞社、八戸商工会議所と連携し、子どものUターン就職を希望する保護者向けセミナーを開催し、採録記事によるUターン就職支援の幅広い情報発信を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デーリー東北新聞 令和5年8月19日セミナー開催予定 (後日、記事広告掲載予定) <p>R4 年度決算額 3,783 千円 R5 年度予算額 4,112 千円</p>

	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-3

若者・女性にとって魅力ある街づくりをビジョンに掲げ「(仮称) まちの魅力創生ネットワーク会議」を立ち上げます。

事業1： 八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業

事業内容	若者や女性にとって魅力あるまちの実現に向け、八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議を設置・運営し、会議からの政策提言に基づき、関係部署と連携を図りながら事業化を検討する。
担当課	政策推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○まちの魅力創生ネットワーク会議の設置、運営 ○市長への政策提言の実施 ○提言内容を踏まえ、具体的な事業化に向けて検討



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 附属機関設置条例の改正、まちの魅力創生ネットワーク会議規則の制定 (令和4年4月1日施行) ・ まちの魅力創生ネットワーク会議の開催(全6回開催) ・ 8月29日、市長に提言書を提出 ・ 提言書を踏まえ、各課で具体的な事業内容を検討 ・ 10月17日、ネットワーク会議委員と関係課と事業化に向けての意見交換を実施 ・ 提言に基づき令和5年度に新規・拡充して取り組む事業として13事業を予算化 <p>R3年度決算額 - R4年度予算額 3,000千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの魅力創生ネットワーク会議の開催 →7月末現在4回開催(全6回予定) ・ 9月4日、市長に提言書を提出予定 ・ 提言書を踏まえ、関係課において具体的な事業化に向けて検討予定 <p>R4年度決算額 3,000千円 R5年度予算額 2,901千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-4

社会人を対象に、資格、技術、技能、専門知識の習得など、地域や企業に役立つ人材を育てるための学びの場として「(仮称) キャリア教育講座」を設置します。

事業1: キャリア教育推進事業

事業内容	社会人を対象に、地域や企業に役立つ人材の育成を図る。また、キャリアアップの啓発や支援するためのセミナーを実施する。
担当課	産業労政課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「(仮称) キャリア教育講座」の設置に向けて、令和4年度にニーズ調査を実施 ○ 令和5年度にはキャリアアップを啓発するセミナーを9月に開催予定。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ調査のアンケートを実施 ・ 「(仮称) キャリア教育講座」実施内容の検討 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 222 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ キャリアアップを啓発するセミナーを9月に開催予定。(実施回数1回、2時間) <p>R4 年度決算額 26 千円 R5 年度予算額 1,000 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-5

シニア世代の資格や技術・技能・専門知識などのキャリアを活かし、中小企業の人材不足と経営再生を支援するため、人材(スキル)を登録し、マッチングを支援する仕組みづくりに取り組みます。

事業1： 無料職業紹介事業

事業内容	企業の人材確保と求職者の早期就職を図るため、「八戸市無料職業紹介所」を開設し、求職者への求人情報の提供、職業紹介、就業相談や求人希望する企業の求人登録、紹介を行う。
担当課	産業労政課
取組詳細	○求職者への求人情報の提供、職業紹介、職業相談の実施 ○求人希望する企業の求人登録、紹介



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ作成、配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等の検討 ・シルバー人材センター等 R3 年度決算額 3,181 千円 R4 年度予算額 3,389 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等 ・シニア世代求職者へのシルバー人材センター、ネクストキャリアセンターあおもり(45歳以上の就職支援)等の紹介(チラシ配付) R4 年度決算額 2,681 千円 R5 年度予算額 3,220 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業2： 求人・求職情報無料ウェブサイト運営事業

事業内容	圏域内の企業の人材確保と求職者の早期就職を図るため、求人及び求職者に関する情報を集約し発信する無料ウェブサイト「八戸都市圏ジョブ市場(いちば)」を運営する。
担当課	産業労政課
取組詳細	○求人及び求職者に関する情報の集約・発信



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ作成、配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・シルバー人材センター等 <p>R3 年度決算額 746 千円 R4 年度予算額 592 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○市無料職業紹介所でのシニア世代を含む求職者へのマッチング支援 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代及び求人企業への市無料職業紹介所の周知 (チラシ配架、市HP掲載) ○外部団体との連携等 <ul style="list-style-type: none"> ・シニア世代求職者へのシルバー人材センター、ネクストキャリアセンターあおもり(45歳以上の就職支援)等の紹介(チラシ配付) <p>R4 年度決算額 585 千円 R5 年度予算額 510 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策7-6

地域の協力を得ながら、高齢者サロン・老人クラブ等の高齢者の生きがいきり活動を支援すると共に、高齢者の社会参加の促進を図ります。

事業1：老人クラブ活動支援事業

事業内容	老人クラブの維持・活性化を図るため、市内の老人クラブや老人クラブ連合会への補助事業を行うとともに、老人クラブにおける社会奉仕活動の促進及びクラブ会員の加入促進のための取組を支援する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○老人クラブ補助金の交付 ○老人クラブ連合会補助金の交付 ○社会奉仕活動等促進事業の実施（委託事業）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	(令和3年度実績) ○老人クラブ補助金の交付 → 補助金交付老人クラブ数 140 クラブ ○老人クラブ連合会補助金の交付 → 八戸市老人クラブ連合会 ○社会奉仕活動等促進事業の実施（令和3年度実績） →集いの場運営及び地域見守り活動助成：助成金交付クラブ数 20 クラブ →老人クラブ加入促進及び活性化業務：広報誌年4回×6,500部発行、加入促進チラシ2,000枚作成、歴史講座（年3回）開催。 →老人クラブ補助金申請受付等業務：補助金申請書受付、実績報告書受付 R3年度決算額 11,713千円 R4年度予算額 11,624千円
	2年目 (R5.7月末時点)	(令和4年度実績) ○老人クラブ補助金の交付 → 補助金交付老人クラブ数 137 クラブ ○老人クラブ連合会補助金の交付 → 八戸市老人クラブ連合会 ○社会奉仕活動等促進事業の実施 →集いの場運営及び地域見守り活動助成：助成金交付クラブ数 20 クラブ →老人クラブ加入促進及び活性化業務：広報誌年4回×6,500部発行、加入促進チラシ2,000枚作成、モルック体験会（1回）開催。 →老人クラブ補助金申請受付等業務：補助金申請書受付、実績報告書受付 R4年度決算額 11,350千円 R5年度予算額 11,471千円
	3年目	—
	4年目	—

事業2：高齢者生きがいと健康づくり推進事業

事業内容	高齢者の社会参加の促進と介護予防、自立生活の助長を図るため、三世代交流事業や各種講座、サロンを開催する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○ほっとサロンの開催 ○サロンリーダー研修会の開催 ○三世代交流事業の開催 ○ニュースポーツ講座の開催 ○シニアいきいき講座の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>(令和3年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほっとサロンの開催…66サロンで414回開催、8,113人参加。(9サロン中止) ○サロンリーダー研修会の開催…5回開催、415人参加 ○三世代交流事業の開催…39回開催、500人参加(2か所中止) ○ニュースポーツ講座の開催…3回開催、66人参加 ○シニアいきいき講座の開催…9回開催、193人参加 <p>(新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年8月31日～9月30日及び令和4年1月21日～3月31日まで事業中止。)</p> <p>R3年度決算額 6,521千円 R4年度予算額 6,195千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>(令和4年度実績)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ほっとサロンの開催…69サロンで581回開催、10,589人参加。(6サロン中止) ○サロンリーダー研修会の開催…2回開催、365人参加 ○三世代交流事業の開催…38回開催、827人参加(1か所中止) ○ニュースポーツ講座の開催…4回開催、49人参加 ○シニアいきいき講座の開催…15回開催、309人参加 <p>R4年度決算額 6,193千円 R5年度予算額 6,195千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 鷗盟大学運営事業

事業内容	高齢者の学習活動の推進と生きがいづくり、仲間づくりの場を提供するため、60歳以上の市民が入学できる2年制の大学を運営する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○一般教養科目のほか、「生活福祉科」「園芸科」それぞれの課程に沿った専門科目の学習を実施 ○クラブ活動、ボランティア活動の実施 ○総合美術展の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>(令和3年度実績)</p> <p>学生数(令和4年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年：42名(生活福祉科29名、園芸科13名) ・2学年：70名(生活福祉科52名、園芸科18名) <p>※各学年とも定員105名</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合美術展(令和3年11月20日、21日) ・芸能発表会中止(令和4年1月20日、21日) ・各種クラブ活動あり <p>(新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年8月31日～9月30日及び令和4年1月21日～3月31日まで休校。)</p> <p>○R4年度</p> <p>学生数(令和4年4月1日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年：48名(生活福祉科38名、園芸科10名) ・2学年：42名(生活福祉科29名、園芸科13名) <p>R3年度決算額 8,910千円 R4年度予算額 9,000千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>(令和4年度実績)</p> <p>学生数(令和5年3月31日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1学年：48名(生活福祉科38名、園芸科10名) ・2学年：39名(生活福祉科28名、園芸科11名) <p>※1学年定員80名、2学年定員105名。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和4年度は定員を暫定的に変更し、学生を募集した。</p> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合美術展(令和4年11月19日、20日) ・芸能発表会(令和5年1月20日) ・各種クラブ活動、ボランティア活動あり <p>R4年度決算額 8,965千円 R5年度予算額 9,000千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業4： シニアはつらつポイント事業

事業内容	高齢者のボランティア参加を促進するため、高齢者が介護施設等で行ったボランティア活動に対し、商品券や寄附ができるポイントを付与する。
担当課	高齢福祉課
取組詳細	○シニアはつらつポイントの付与 ○研修会、スキルアップ講習会の開催



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度は事業中止。 R3 年度決算額 20 千円 R4 年度予算額 3,184 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	(令和4年度実績) ・シニアはつらつポイント事業の再開（令和4年5月から） ・ボランティア活動再開（令和4年7月から） ・事業再開説明会の開催 →1回開催 43名参加 ・研修会&研修会の開催 →3回開催 26名参加 ・スキルアップ講習会の開催→1回開催 27名参加 ・会員登録者数 147名（うち活動実人数 5名） ・ポイント活用人数 2名 R4 年度決算額 2,176 千円 R5 年度予算額 3,176 千円
	3年目	—
	4年目	—

政策8 暮らしやすく人に優しいまちづくり

重点施策8-1

地域の活力を維持するために「コンパクト&ネットワーク」の街づくりを推進すると共に、地域らしさを創出するための協働のまちづくりを推進します。

事業1：「地域の底力」実践プロジェクト促進事業

事業内容	地域活動の全市的な推進及び特色ある地域コミュニティの振興を図るため、地域の人材、歴史、文化、伝統、自然などの地域資源を活用し、課題解決や活性化に向けて主体的に取り組む地域を支援する。※2カ年事業
担当課	市民連携推進課
取組詳細	<p>【1年目】</p> <p>① 取組地域を公募し採択</p> <p>② 地域住民等とプロジェクトの内容や方向性を共有するための「結集会議」を開催</p> <p>③ 具体的な実践内容を検討するための「プロジェクトチーム」を結成し、会議を開催</p> <p>【2年目】</p> <p>④ 実践に必要な資金を支援するため実施経費に対して補助金を交付</p> <p>⑤ 今後の地域活動に活かすための「事業の振り返り」を実施</p>



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度新規取組地域の採択（根城地区連合町内会） ・結集会議の開催 ①下 長：令和3年12月2日 参加者48名 ②白銀南：令和4年4月15日 参加者52名 ・プロジェクト会議および準備会議への参加（下長：5回、白銀南：3回、上長：3回） ・プロジェクト実践に伴う補助金の交付（白銀南：500千円） <p>R3 年度決算額 1,970 千円 R4 年度予算額 2,189 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度新規取組地域の採択（3地域予定） ・結集会議の開催 ①上 長：令和4年9月27日 参加者51名 ②根 城：令和4年11月25日 参加者47名 ・プロジェクト会議および準備会議への参加（下長：12回、白銀南：8回、上長：9回、根城14回） ・プロジェクト実践に伴う補助金の交付（根城：500千円） <p>R4 年度決算額 940 千円 R5 年度予算額 2,180 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：協働のまちづくり研修会の開催事業

事業内容	市民の協働のまちづくりへの積極的な参加を促進するため、意識啓発や市民活動等の実践に役立つ研修会を開催する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	社会課題の変化や市民ニーズの多様化、地域課題の複雑化・高度化を受けて重要視されている、市民と行政による協働のまちづくりを推進するため、市民へ協働についての理念普及・意識啓発を図る目的で行う。 外部から講師を招き、町内会長や市民活動者、地域コミュニティ活動者を対象として行う。 令和3年度から、八戸市市民活動サポートセンター わいぐへの委託による「八戸圏域住民活動促進事業」として開催。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>【開催概要】</p> <p>第28回 令和3年度協働のまちづくり研修会 「会えない時代の協働のまちづくり～現場から見えた今とこれから～」の開催 日時：令和3年11月20日（土）13：30～15：00 講師：NPO法人いわてNPO-NETサポート 事務局長 菊池 広人 氏 開催方法：Zoomによるオンライン開催</p> <p>【成果】</p> <p>参加者：22名 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<p>【開催概要】</p> <p>第29回 令和4年度協働のまちづくり研修会 『何かやってみたい』が生まれる、『やってみたい』が応援される地域とは～多様なチャレンジの創出がこれからのまちづくりのカギとなる～の開催 日時：令和4年10月1日（土）13：30～15：30 講師：NPO法人いわてNPO-NETサポート 事務局長 菊池 広人 氏 開催場所：八戸ポータルミュージアム はっち 2階 シアター2</p> <p>【成果】</p> <p>アンケート満足度：94.3%（研修内容について「大変良い」「良い」と回答した割合） 参加者：38名 R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 0千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業3：協働のまちづくり職員研修事業

事業内容	職員の協働のまちづくりに対する理解促進と協働の取組を浸透させるため、職員向けの研修を実施する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	○協働のまちづくりに関連するテーマで階層別研修における講義を行う。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	○主事級職員第二部研修において講義を実施 (R4.1.17) ・テーマ：協働のまちづくりについて ・講師：市民協働 GL R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	○新採用職員後期研修において講義を実施 (R4.10.4) ・テーマ：地域連携について ・講師：地域連携 GL ○主事級職員第二部研修において講義を実施 (R5.1.18) ・テーマ：協働のまちづくりについて ・講師：市民協働 GL R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業4：「元気な八戸づくり」市民提案制度事業

事業内容	市民と行政が協働して取り組むことにより相乗効果が期待できる政策に係る事業化促進の仕組みづくりのため、市民提案制度を実施する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○市民活動団体や地域コミュニティ活動団体、事業者から、市民と行政が協働して取り組むことにより相乗効果が期待できる事業提案を募集する。採択された事業を提案者と協力して実施する。 ○活用しやすい制度の見直しや、市民や職員への制度周知の強化、プラットフォーム設置の検討を行う。 ○市民や職員の当制度への理解促進のため周知に努める。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○「市設定テーマ部門」 市が設定するテーマに基づいた提案を市民から募集。 ※制度見直しのため、庁内テーマを募集しなかった。 ○「自由提案部門」 令和3年度自由提案部門に提案された下記事業を令和4年度に実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：島守地区助け合い輸送事業 ・提案者：島守地区自治会連合会 ・担当課：都市政策課 <p>・交付決定額：1,600,000円（都市政策課） R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○「市設定テーマ部門」 市が設定するテーマに基づいた提案を市民から募集。 令和5年度市設定テーマ：「本のまち八戸」魅力創出事業（八戸ブックセンター） 募集期間：7/3～8/24 ○「自由提案部門」 令和4年度実施した下記事業について活動成果発表会を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・事業名：島守地区助け合い輸送事業 ・提案者：島守地区自治会連合会 ・担当課：都市政策課 <p>・交付決定額：1,569,000円（都市政策課） R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 0千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業5：「元気な八戸づくり」市民奨励金事業

事業内容	市民主体のまちづくり活動の活性化を図るとともに、重要な協働のパートナーでもある市民活動団体等の行う公益性のあるまちづくり活動を支援するため、奨励金制度を実施する。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○前年度の奨励金交付事業について活動成果発表会を開催する。 ○当該年度に企画提案のあった事業について、公開ヒアリング審査会を実施し、交付決定となった団体に奨励金を交付する。 ○次年度に市民活動団体や地域コミュニティ活動団体が取り組む、自主的な公益性のあるまちづくり活動に関する企画案を募集する。

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和3年度奨励金交付事業関係 <ul style="list-style-type: none"> ・R4.7.9 交付9団体の活動成果発表会を開催 ・交付確定額：2,119,000円 ○令和4年度奨励金交付事業関係 <ul style="list-style-type: none"> ・R3.12.21 奨励金制度説明会を実施 4件応募 ・R4.4.23 公開ヒアリング審査会の開催 ・交付件数：3団体（まちづくり支援コース3件） ・交付決定額：716,000円 <p>R3年度決算額 2,605千円 R4年度予算額 3,175千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度奨励金交付事業関係 <ul style="list-style-type: none"> ・R5.7.1 交付3団体の活動成果発表会を開催 ・交付確定額：686,000円 ○令和5年度奨励金交付事業関係 <ul style="list-style-type: none"> ・R4.12.18及び21 奨励金制度説明会を実施 6件応募 ・R5.4.22 公開ヒアリング審査会の開催 ・交付件数：6団体（初動期支援2件、若者支援2件、まちづくり支援2件） ・交付決定額：1,091,000円 ○令和6年度奨励金交付事業関係 <ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業の募集を実施。（R5.12月に制度説明会を実施予定） <p>R4年度決算額 1,212千円 R5年度予算額 3,174千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業6：八戸市立地適正化計画改定事業

事業内容	安全なまちづくりを推進するため、八戸市立地適正化計画に「防災指針」を位置付けるとともに、新たな地域公共交通計画との連動を図るため、計画の見直しを行う。
担当課	都市政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画基礎調査の実施 ○都市計画基礎調査の調査結果や各種統計データを基に分析・評価 ○地域公共交通計画との調整



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画基礎調査業務委託契約の締結（令和4年6月） <p>R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 31,000千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市立地適正化計画改定業務委託契約の締結（令和5年4月） <p>R4年度決算額 27,500千円 R5年度予算額 11,000千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業7： 売市第三地区土地区画整理事業(代替整備計画)

事業内容	土地区画整理事業の長期未着手となっている売市第三地区において、現状にあわせた代替整備計画を検討し、コンパクト&ネットワークの街づくりを推進するとともに、人に優しい街づくりを実施する。
担当課	都市政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○都市計画道路沿線の土地利用についての検討及び説明会の実施 ○庁内関係課と調整、検討状況の共有及び精査 ○地元協議会との意見交換会を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市議会建設協議会に対し、土地区画整理事業に拘らず都市計画道路や幅員4m未満道路の拡幅、下水道等を個別に整備する代替整備計画の検討を進める方針を報告（令和4年2月） <p>R3年度決算額 3,470千円 R4年度予算額 3,792千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・青森県に対して売市第三地区土地区画整理事業の代替整備計画調査及び整備への支援について令和5年度重点事業要望（令和4年10月） ・地権者に対し、令和7年度の都市計画手続き実施を目標として、各種検討を進める旨を売市第三だよりで報告（令和5年3月） ・国土交通省所管国庫補助金の内示（令和5年3月） <p>R4年度決算額 3,515千円 R5年度予算額 21,792千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策8-2

市民にとって身近な公園や歩道の整備、公共施設等の保守・修繕・バリアフリー化を進め、人にやさしい街づくりを推進します。

事業1：無電柱化推進事業

事業内容	すべての人が安全快適に過ごせる環境を整備するため、「暮らしのみちゾーン基本計画」を含む「(仮称)八戸市無電柱化推進計画」を作成し、中心市街地における一層の無電柱化やバリアフリー化を進めるとともに、緊急輸送道路及び景観重点地区における無電柱化を推進する。
担当課	道路建設課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○「暮らしのみちゾーン基本計画」に基づき電線類の地中化・バリアフリー化を実施 ○「暮らしのみちゾーン基本計画」の見直しを含めた、「八戸市無電柱化推進計画」の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・市道停車場上線、鳥屋部町線事業実施中（令和6年3月完了予定） ・市道番町線事業実施中（令和8年3月完了予定） ・市道中央停車場線事業実施中（令和6年10月工事着工予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市道鳥屋部町線車道舗装工事、歩道舗装工事（令和4年3月完成） ・市道番町線電線共同溝特殊部設置工事（令和3年12月完成） ・市道番町線電線共同溝本体工事（令和4年3月～実施中） ・市道中央停車場線電線共同溝予備設計業務委託（令和4年7月～実施中） <p>R3 年度決算額 181,615 千円 R4 年度予算額 234,506 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・市道番町線電線共同溝本体工事（令和5年3月完成） ・市道中央停車場線予備設計業務委託（令和5年3月完成） ・市道停車場上線・鳥屋部町線歩道舗装工事（令和4年10月～実施中） ・市道中央停車場線測量設計業務委託（令和5年6月～実施中） ・市道中央停車場線電線共同溝詳細設計業務委託（令和5年7月～実施中） <p>R4 年度決算額 124,678 千円 R5 年度予算額 124,101 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：新井田白銀線歩道整備事業

事業内容	安心・安全な歩行空間の確保と渋滞解消のため、新井田白銀線の拡幅改良（歩道設置）工事を実施する。
担当課	道路建設課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道未整備区間に両側歩道を設置 ○渋滞対策として右折車線を設置 ○用地買収の実施 令和3年度：用地買収・移転補償 令和4年度：用地買収・移転補償・道路改良工事 令和5年度：用地買収・移転補償・道路改良工事 令和6年度：用地買収・移転補償・道路改良工事 令和7年度：道路改良工事（完了予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	令和3年度：用地買収 N=6 筆、移転補償 N=4 件、物件調査業務委託 N=1 件 令和4年度：用地買収・移転補償実施中 R3 年度決算額 70,705 千円 R4 年度予算額 49,376 千円
	2年目 (R5.7月末時点)	令和4年度：用地買収 N=7 筆、移転補償 N=7 件、物件調査業務委託 N=1 件、 道路排水施設詳細設計業務委託 N=1 件、道路改良工事(排水工)L=100m 令和5年度：用地買収、移転補償実施中 R4 年度決算額 46,976 千円 R5 年度予算額 87,400 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業3： 一番町矢沢線歩道整備事業

事業内容	安心・安全な歩行空間の確保のため、一番町矢沢線の拡幅改良（歩道設置）工事を実施する。
担当課	道路建設課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○歩道未整備区間に片側歩道を設置 ○用地買収の実施 令和3年度：用地買収 令和4年度：用地買収・移転補償 令和5年度：用地買収・移転補償・道路改良工事（完了予定）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<p>令和3年度：用地買収 N=1 筆、電柱移設 一式、消火栓移設 一式、 物件調査業務委託 N=1 件</p> <p>令和4年度：用地買収、移転補償実施中</p> <p>R3 年度決算額 10,542 千円 R4 年度予算額 73,600 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<p>令和4年度：用地買収 N=6 筆、移転補償 N=6 件</p> <p>令和5年度：用地買収、移転補償、電柱移設、道路改良工事实施中</p> <p>R4 年度決算額 72,389 千円 R5 年度予算額 59,211 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業4：交通安全施設整備事業

事業内容	児童・生徒の安心・安全な歩行空間を確保するため、老朽化による破損が著しい通学路の歩道補修工事を実施するとともに、通学路の安全対策を推進する。
担当課	道路維持課
取組詳細	○歩道の補修工事を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	以下の補修工事を実施し、継続中 6路線 施工延長 L=700m ①下大久保佐部長根線 ②石堂河原木7号線 ③新井田白銀線 ④石堂河原木10号線 ⑤大渡金浜線 ⑥無縁塚鹿島沢線 R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 50,000千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	以下の補修工事を実施し、継続中 4路線 施工延長 L=530m ①無縁塚鹿島沢線 ②二中通線 ③石堂河原木12号線 ④石堂河原木7号線 R4年度決算額 50,000千円 R5年度予算額 50,000千円
	3年目	—
	4年目	—

事業5：通学路等区画線設置事業

事業内容	近年、全国各地の通学路において痛ましい事故が多発しており、当市においても、通学する児童や生徒の安全を確保するための白線等の路面標示を早期に引き直すよう、多くの要望が寄せられ、市長との公民館サロンにおいても、学校周辺の通学路における白線の引き直しを要望されていることから、登下校時の児童や生徒の安全を確保するため、通学路の白線等の路面標示を引き直す。
担当課	道路維持課
取組詳細	・市内の小中学校周辺の通学路における白線等の路面標示の引き直し。



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	○令和5年度より開始し、実施中 ・区画線(外側線) 25,000m ・対象校 10 小学校 R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 20,000 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業 6： 公園施設長寿命化事業

事業内容	安全・安心な公園づくりと施設の延命化を図るため、八戸市公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の修繕・改築を行う。
担当課	公園緑地課
取組詳細	○公園施設の修繕、改築を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	○遊具、花壇、公園灯、舗装等の修繕、改築 ・修繕の実施：イチイ公園、岬台中央公園、長根公園、長根公園、三八城公園、上沢巻目公園、四本松公園、淀1号公園 R3 年度決算額 47,969 千円 R4 年度予算額 31,050 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	・公園灯、公園橋梁、舗装、ベンチ等の修繕を実施 →実施場所：新井田公園、長根公園、旧島守発電所保存公園、類家四丁目中央公園、東運動公園、平庭公園 他 26 公園 ・改築工事の実施 →実施場所：サツキ公園、四本松公園、尻引前山ちびっこ公園、石堂第1号公園 他 6 公園 ・改築工事の実施（令和5年8月発注予定） →実施場所：類家四丁目中央公園、下番屋平公園、江陽3号公園、洲先公園 他 8 公園 R4 年度決算額 56,205 千円 R5 年度予算額 60,050 千円
	3年目	—
	4年目	—

事業7：市民で賑わう公園魅力向上事業

事業内容	公園の魅力向上を図るため、樹木管理計画を策定するほか、日常管理や公園施設を充実化させる。
担当課	公園緑地課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○包括管理の委託のグレードアップ(草刈り、樹木剪定等) 作業内容等を再編、拡充し、草刈、清掃等の日常管理や樹木管理業務の効率化と品質の向上を図る。 ○八戸市公園樹木管理計画の策定(現況調査、計画策定) 公園樹木管理計画を策定し、公園樹木を継続的かつ計画的に管理し、公園利用者をはじめとする市民の安全・安心の確保を図る。 ○公園施設の充実及び未整備公園の早期整備 町内会等、地元住民のニーズに対応した公園施設の充実と未整備公園の早期整備を図る。

各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○包括管理の委託のグレードアップ(草刈り、樹木剪定等) 造園建設業協会；樹木管理 128 公園、危険木剪定伐採 30 公園、設備保守（三八城、まつりんぐ）、修繕 シルバー人材センター；草刈り 36 公園、頻度年 2 回⇒6 回（緑地は 3 回）へ増加 管理人委託公園の増加（7 公園⇒12 公園、週 2 回） ○八戸市公園樹木管理計画の策定(現況調査、計画策定) 八戸市公園樹木管理計画樹木調査業務委託発注（令和 5 年 5 月） ○公園施設の充実及び未整備公園の早期整備 公園整備工事発注 類家中央 7 号公園（令和 5 年 5 月） （仮称）糠塚公園（令和 5 年 7 月） <p>R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 98,715 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業 8： 公共施設有効利用促進事業

事業内容	公共施設の適切かつ効率的・効果的な管理運営を推進するため、公共施設マネジメントの推進に係る基本方針に基づく取組を推進するとともに、大型公共施設の維持管理コストの見える化に取り組み、積極的な周知による市民との情報共有、アンケート調査による市民意見の把握等を行う。
担当課	行政管理課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○基本方針に基づくマネジメントの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・施設カルテの更新 ・個別施設計画の進捗管理 ・先進地事例収集 ・研修会の開催 ○大型公共施設の有効利用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートや職員意見を踏まえた具体的な取組検討 ・見える化シートの公表 ・職員のコスト意識向上に向けた更なる取組の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市公共施設マネジメントの推進に係る基本方針の改訂（令和4年4月） ・個別施設計画の進行管理表取りまとめ（令和4年6月） ・公共施設オンラインセミナーの開催（令和4年7月） →参加者：施設所管課担当者7名 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 164 千円</p>
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設カルテ（430 施設）を更新（令和4年8月） ・見える化シートの公表（令和5年1月） ・市民アンケートの実施（令和5年6月） ・個別施設計画の進捗管理の実施（令和5年7月～） ・施設カルテの更新（令和5年7月～） ・省エネ最適化診断の実施（令和5年6月～） <p>R4 年度決算額 164 千円 R5 年度予算額 329 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業9： 公共施設長寿命化推進事業

事業内容	集中的・効率的な公共施設の長寿命化対策の推進を図るため、公共施設マネジメントの推進に係る基本方針に基づく取組を行う。
担当課	行政管理課
取組詳細	当初予算編成における「公共施設適正管理推進費（予算特別枠）」にかかる審査実施（10月）



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	R3年度決算額 0千円 R4年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	事業担当課から提出された事業概要資料や施設カルテを用いて、施設の老朽化率や利用状況について分析し、それぞれの改修事業に優先順位付けを行い、財政課へ通知をした。(10月) R4年度決算額 0千円 R5年度予算額 0千円
	3年目	—
	4年目	—

重点施策8-3

空き家の適正管理を進めるほか、空き家のリフォームやリノベーションによる転用などの利活用を促進します。

事業1： 空き家等管理対策事業

事業内容	空き家の適切な管理と発生防止のため、市民等からの相談受付や各種調査・助言・指導等を行うとともに、適切な管理に関する啓発や所得税の特例制度の周知、圏域自治体との合同研修会を実施する。
担当課	都市政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ○圏域町村との合同研修会の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ⇒新規相談受付案件：35件（8件解決）、既受付案件：53件解決 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ⇒(株)ジチタイアドと官民協働で空き家情報誌を作成（9,200部）し、町内会等に配布 ⇒広報はちのへ8月号（R4.7発行）に、空き家等の適切な管理に関する啓発記事を掲載 ○圏域町村との合同研修会の実施 ⇒構成市町村の空き家対策に係る担当職員を対象に、各市町村が抱える空き家問題について検討や情報交換を実施（R3.11.18） <p>R3年度決算額 352千円 R4年度予算額 2,216千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○管理不全空き家等に関する相談受付・対応 ⇒新規相談受付案件：62件（14件解決）、既受付案件：41件解決 ○空き家の適切な管理に関する啓発、所得税の特例制度の周知 ⇒(株)ジチタイアドと官民協働で空き家情報誌を作成（9,200部）し、町内会等に配布 ⇒広報はちのへ5月号（R5.4発行）に、空き家等の適切な管理に関する啓発記事を掲載 ○圏域町村との合同研修会の実施 ⇒構成市町村の空き家対策に係る担当職員を対象に、各市町村が抱える空き家問題について検討や情報交換を実施（R4.11.16） <p>R4年度決算額 748千円 R5年度予算額 1,813千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：空き家活用・住みかえ支援事業

事業内容	空き家の利活用や流通促進を図るため、相談体制の拡充や補助事業の実施、空き家ポータルサイトの運営等に取り組む。
担当課	都市政策課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家に関する相談体制の拡充 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ○危険空き家等除却事業補助金の交付 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ○市民向け相談会の開催 ○空き家再生事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ・空き家ポータルサイトの運営 ・空き家対策に関するPR動画制作 ・不動産等専門団体と連携して空き家の利活用を促進する空き家解消取組体制の構築



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家に関する相談体制の拡充 ⇒相談受付：25件 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ⇒R3年度：交付決定6件、交付額321,000円 ⇒R4年度：交付決定1件、交付額050,000円 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ⇒協定に基づく取り組み内容を広報はちのへやチラシにて周知 ○市民向け相談会の開催 ⇒新型コロナウイルス感染症拡大防止措置の実施（施設閉館）に伴い中止（令和4年2月2日開催予定） ○空き家再生事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ⇒調査地区：三八城（中心市街地の一部、売市、城下、沼館）、白銀地区の一部 空き家候補数：313件 ・空き家ポータルサイトの運営 ⇒空き家バンク新規登録物件数：15件 ⇒空き家ポータルサイト（はちのへ空き家ずかん）総アクセス数：107,516pv（11,946pv/月） ・空き家対策に関するPR動画制作 ⇒空き家対策事業に関するPR動画：1本制作・公開 ⇒空き家バンク掲載物件の紹介動画：7本制作・公開 <p>R3年度決算額 37,583千円 R4年度予算額 38,615千円</p>

<p>2年目 (R5.7月 末時点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○空き家に関する相談体制の拡充 ⇒相談受付：60件 ○あんしん空き家流通促進事業補助金の交付 ⇒R4年度：交付決定14件、交付額1,820,000円 ⇒R5年度：交付決定なし ○危険空き家等除却事業補助金の交付（新規） ⇒R5年度：交付決定1件 ○金融機関と連携し、空き家の利活用に関する取り組みを実施 ⇒協定に基づく取り組み内容を広報はちのへやチラシにて周知 ○市民向け相談会の開催 ⇒青森県宅地建取引業協会及び青森県居住支援協議会と連携して相談会を開催 (R4.11.27、R5.2.7) ○空き家再生事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の実態調査及びデータベースの構築 ⇒調査地区：白銀地区の一部、大館地区 空き家候補数：325件 ・空き家ポータルサイトの運営 ⇒空き家バンク新規登録物件数：20件 ⇒空き家ポータルサイト（はちのへ空き家ずかん）総アクセス数： 153,258pv（13,932pv/月） ・空き家対策に関するPR動画制作 ⇒空き家対策事業に関するPR動画：2本制作・公開 ⇒空き家バンク掲載物件の紹介動画：9本制作・公開 <p>R4年度決算額 38,117千円 R5年度予算額 28,622千円</p>
<p>3年目</p>	<p style="text-align: center;">—</p>
<p>4年目</p>	<p style="text-align: center;">—</p>

重点施策 8-4

市民と共に創る「市民目線のまちづくり」を目指して、「(仮称) 市長との公民館サロン」を開設し、開かれた市政を実現します。

事業 1： 市長との公民館サロン開催事業

事業内容	「市民目線のまちづくり」の実現のため、地域の現状や課題、市政状況等について相互理解を図るとともに、課題解決や振興策について市長と地域住民が気軽な雰囲気の中で対話をする場を設ける。
担当課	市民連携推進課
取組詳細	<p>市長が直接地域に出向き、必要に応じて現地視察を行いながら、地域を知り、地域とともに課題解決に取り組むため、地域代表者と意見交換を行う。</p> <p>① 市長と地域住民の代表者 10 名程度が車座になり、顔の見える距離で、形式にとらわれない気軽な雰囲気の中、開催地域から提案を受けたテーマについて意見交換を行う。</p> <p>② 公民館で開催し、2 年で市内 24 地区公民館の所管区域を一巡する。</p> <p>③ 意見交換の内容は担当課へ共有し、その後の対応状況を取りまとめる。</p>



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4. 7 月 末時点)	<p>○公民館サロンを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田面木 (令和 4 年 4 月 26 日) ・湊 (令和 4 年 5 月 16 日) ・根岸 (令和 4 年 6 月 3 日) ・館 (令和 4 年 6 月 28 日) ・南郷西 (令和 4 年 7 月 8 日) ・島守 (令和 4 年 7 月 19 日) <p>6 地区</p> <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 150 千円</p>
	2 年目 (R5. 7 月 末時点)	<p>○公民館サロンを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南浜 (令和 4 年 8 月 23 日) ・根城 (令和 4 年 9 月 2 日) ・白銀 (令和 4 年 10 月 18 日) ・上長 (令和 4 年 11 月 1 日) ・下長 (令和 4 年 11 月 16 日) ・市川 (令和 4 年 12 月 1 日) ・白山台 (令和 5 年 1 月 17 日) ・大館 (令和 5 年 4 月 20 日) ・鮫 (令和 5 年 5 月 17 日) ・小中野 (令和 5 年 5 月 29 日) ・吹上 (令和 5 年 6 月 27 日) ・三八城 (令和 5 年 7 月 6 日) ・東 (令和 5 年 7 月 24 日) <p>13 地区</p> <p>R4 年度決算額 83 千円 R5 年度予算額 149 千円</p>
	3 年目	—
	4 年目	—

政策9 経営感覚を持った行財政運営

重点施策9-1

持続可能な財政運営に向け、大型公共施設の維持管理コストと財源の見通しを公開し、併せて施設の有効利用を図ることにより費用対効果を高めます。

事業1：公共施設有効利用促進事業

事業内容	公共施設の適切かつ効率的・効果的な管理運営を推進するため、公共施設マネジメントの推進に係る基本方針に基づく取組を推進するとともに、大型公共施設の維持管理コストの見える化に取り組み、積極的な周知による市民との情報共有、アンケート調査による市民意見の把握等を行う。
担当課	行政管理課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○基本方針に基づくマネジメントの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・施設カルテの更新 ・個別施設計画の進捗管理 ・先進地事例収集 ・研修会の開催 ○大型公共施設の有効利用の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートや職員意見を踏まえた具体的な取組検討 ・見える化シートの公表 ・職員のコスト意識向上に向けた更なる取組の実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・八戸市公共施設マネジメントの推進に係る基本方針の改訂（令和4年4月） ・個別施設計画の進行管理表取りまとめ（令和4年6月） ・公共施設オンラインセミナーの開催（令和4年7月） →参加者：施設所管課担当者7名 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 164 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設カルテ（430施設）を更新（令和4年8月） ・見える化シートの公表（令和5年1月） ・市民アンケートの実施（令和5年6月） ・個別施設計画の進捗管理の実施（令和5年7月～） ・施設カルテの更新（令和5年7月～） ・省エネ最適化診断の実施（令和5年6月～） <p>R4 年度決算額 164 千円 R5 年度予算額 329 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

重点施策9-2

市長と市職員との活発な意見交換を通じ、行政組織をより活性化させ行政改革と市民サービスの質の向上につなげます。

事業1：行政組織活性化事業

事業内容	市民サービスの質の向上を図るため、行政組織を活性化させる取組を進める。
担当課	人事課
取組詳細	○市長が掲げる政策を職員に浸透させるため、職員研修において、市長講話や意見交換会等を実施



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修において、市長講話又は意見交換会を実施 ①新採用職員前期研修（令和4年4月） 市長講話及び政策に対する市長との意見交換 ②班長級研修（令和4年4月） 市長講話 ③補佐級研修（令和4年6月） 市長講話 ④課長級研修（令和4年7月） 市長講話 ⑤主査級研修（令和4年8月） 政策提案発表会（市長から講評） R3 年度決算額 0千円 R4 年度予算額 0千円
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・階層別研修において、市長講話又は意見交換会を実施 ①新採用職員前期研修（令和5年4月） 市長講話及び政策に対する市長との意見交換 ②班長級研修（令和5年4月） 市長講話 ③補佐級研修（令和5年6月） 市長講話 ④主査級研修（令和5年8月） 政策提案発表会（市長から講評） R4 年度決算額 0千円 R5 年度予算額 0千円
	3年目	—
	4年目	—

重点施策9-3

民間企業との交流をより推進し、経営感覚やスキルを取得することによって、八戸市のまちづくり経営の事業や施策に反映させます。

事業1： 民間企業との交流事業

事業内容	市職員のまちづくりに関する企画立案能力の向上を図るため、民間企業の有する経営感覚やスキルを学ぶ機会を設ける。
担当課	人事課
取組詳細	○まちづくりに関する民間企業等への職員派遣 ○参加可能な民間企業等の研修会への参加



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・民間企業等が主催する研修会の中で、職員が参加可能な研修会を調査し、参加について検討 R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 0 千円
	2年目 (R5.7月 末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年4月1日より株式会社まちづくり八戸へ職員（まちづくり推進課付）1名を派遣 ・民間企業等が主催する研修会の中で、職員が参加可能な研修会を調査し、参加について検討（1件企画中） R4 年度決算額 0 千円 R5 年度予算額 0 千円 （派遣職員の給料、手当、旅費は市負担）
	3年目	—
	4年目	—

重点施策 9-4

健康増進、子育て支援などの機能を備えた市民向けアプリを開発し、市民満足度の向上を図ります。また、アプリに市民の意識や満足度を把握できる機能も備えることで市政の改善に活かします。

事業1：健康はちのへ21ポイントアプリ事業

事業内容	健康寿命の延伸を図るため、市民が楽しく健康増進に取り組むことができるスマートフォン向け健康アプリを導入する。
担当課	保健所 健康づくり推進課
取組詳細	<ul style="list-style-type: none"> ○アプリの導入準備 ○アプリの運用 ○アプリの周知



各期間の取組実績・成果	1年目 (R4.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリ等開発委託業者選定のための公募型プロポーザル参加者募集。 (令和4年6月～7月) ・令和4年7月プロポーザルを実施し、委託契約予定業者を選定。 <p>R3 年度決算額 0 千円 R4 年度予算額 12,000 千円</p>
	2年目 (R5.7月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月1日運用開始 3月末現在ダウンロード数 1,535 ・市長記者会見及び広報、HP、デジタルサイネージによる周知 ・令和5年6月30日第1回抽選実施 (応募総数 571 人、1,072 口) ・令和5年6月末時点ダウンロード数 3,110 ・令和5年9月、12月、令和6年3月に抽選を実施する予定 <p>R4 年度決算額 11,090 千円 R5 年度予算額 4,487 千円</p>
	3年目	—
	4年目	—

事業2：子育て情報整備事業

事業内容	子育て情報の取得に係る負担軽減のため、LINE や専用アプリ等を導入・運用し、子育て世代が妊娠期から子育て期に必要な多種多様な情報を手軽かつ効果的に取得できる環境を整備する。
担当課	子育て支援課
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て情報サイトの運営（平成 27 年 4 月 1 日開設） ○はちすく通信の配信（平成 27 年 4 月 1 日メール配信開始、令和 2 年 11 月 1 日 LINE 配信開始） ○子育て支援アプリの運用（令和 4 年 8 月 19 日導入） ○子育て支援アプリの機能拡充（令和 5 年 5 月）



各期間の取組実績・成果	1 年目 (R4.7 月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・内容：子育て支援関連の各種行政サービス情報を集約したウェブサイト ・サイト訪問者数：1,036 人（R4.7 月末時点） ○メール及び LINE により「はちすく通信」を配信 <ul style="list-style-type: none"> ・内容：子育てに関する行政情報はじめ、親子で楽しめるイベント情報などを定期配信 ・メール登録者数：395 人（R4.7 月末時点） ・LINE 登録者数：1,144 人（R4.7 月末時点） <p>R3 年度決算額 833 千円 R4 年度予算額 1,410 千円</p>
	2 年目 (R5.7 月末時点)	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て情報 Web サイト「はちすく」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・サイト訪問者数：1,432 人（R5.6 月末時点） ○「はちすく通信 LINE」を配信 <ul style="list-style-type: none"> ・R5.4/1 よりメール配信は廃止 ・登録者数：1,706 人（R5.6 月末時点） ○子育て支援アプリ「子育てアプリ はちも」 <ul style="list-style-type: none"> ・機能：予防接種スケジュール管理、子どもの成長記録、子育てや地域のイベント情報の検索・プッシュ通知、子育て施設検索 等 ・登録者数：2,004 人（R5.6 月末時点） ・機能の追加改修 <ul style="list-style-type: none"> ①配信希望ジャンルの絞り込み機能の追加・「ひとり親」追加（令和 5 年 5 月） ②オンライン予約機能の追加・離乳食教室など（令和 5 年 6 月） <p>R4 年度決算額 1,385 千円 R5 年度予算額 2,699 千円</p>
	3 年目	—
	4 年目	—